(日曜日休刊)年中無休刊 大正七年九月十三日 THE KEIJO NIPPO 第三千九百四十二號 (一)
(明治三十九年八月九日第三種郵便物認可)

京城日報

發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
發行兼編輯人 小田三直 / 印刷人

九月十二日夕刊（朝夕併せて八頁）

烏蘇里方面戰報

△陸戰隊上陸準備 ニコライスク兩派の爭鬪

某所着電＝ニコライスクの諸行政機關は從來過激派に掌握され要塞の過激派守備兵約二百名ありしが八市陷落と共に退路を失ひ首領は逃亡し警備の任に當れる〇〇〇も八日八市方面に溯江したるを以て過激派の政權を顚覆せんとする反過激派一派起り目下兩者間に爭鬪繼續中なるが我陸戰隊は必要に應じ何時にても陸戰隊を上陸せしむべく準備を整へ居れりと（東京特電）

△ブ市無政府狀態 獨墺俘虜過激派主力畫策中

某所着電＝黑河、ブラゴエチエンスクは既報の如く東西より逃げ込みし過激派兵三四千內外に達し無政府狀態にあり彼等は非戰主戰の二派に分れ主戰論者はセーヤ河方面に其の本據を集中せんと稱し居れり獨墺俘虜軍過激派の主力は目下アレキセーフスクにて何事か畫策しつゝあり（東京特電）

△光輝ある戰勝を謝す チ軍兩少將大谷司令官に對し

某所着公表＝オロワンナヤにて東部チエック軍司令官デイトリックス少將と西部チエック軍司令官ガイダ少將と會見の際ガイダ少將はデイトリックス少將と同行したる聯合國代表武官に對し國歌を奏して是れを迎へ殊に日本代表武官に對し日本陸軍大臣、參謀總長、浦鹽派遣軍司令官宛て左の意味の祝電を達方を依賴せり

日本がチエック救援の爲め其方法手段を盡して努めたる事殊に沿海州方面にて光輝ある戰勝により敵の勢力を掃蕩されたる事に就き謝意を表す

尙チ、ガ兩少將は此の記念す可き日に於て大谷司令官に對し兩少將の名を以て沿海州に於ける戰勝に對し深甚なる謝辭を呈し且つ是を聯合軍に傳達方を願へり（東京特電）

滿洲里方面戰報

△西部チ軍援助

某所着公報＝西方より進出しチタ附近に到着したる中部チエック軍並に聯合與國の後援により浦鹽より西進したるチエック軍は此處に提携の實を擧げ西部チエック軍司令官ガイダ少將指揮の下にイルクック附近に集中し武裝を整備したる後歐露にて獨墺勢力と對抗中なる西部チエック援助の途に就くべしと（東京特電）

△セ隊長哥薩克徵集

哈爾賓來電＝セミヨノフ隊長は後貝加爾州及び黑龍州に於て哥薩克を徵集しつゝありオムスク政府の下に編成しつゝある露國軍隊は其の中心を爲すもの六箇聯隊あり（東京特電）

△セ隊長極東司令官

某所着電＝セミヨノフ隊長は西部チエック軍司令官ガイダ大佐の推薦にてオノン河以東一帶露領極東司令官に就任しガイダ大佐は今回少將に昇進せり（東京特電）

◇ペ市英佛人逮捕

ペトログラード在留の英人は過激派政府の爲め全部逮捕され莫斯科に

★張東三省巡閲使と其腹心 奉天督軍張作霖氏が多年の宿望たりし東三省巡閲使の任命は愈々八日大總統令を以て發表された、而して之れが補佐の一に當る者は長袁金凱及び財政長王永江の二氏は共に張氏の股肱として今日の名聲を築き上げたる人なり。寫眞は(上)が東三省巡閲使(下右)袁金凱(下左)王永江（北京）

◇西伯利統一如何

某所着電＝西伯利に於ける各政府の妥協統一問題は其の後一向進捗せずホルワット將軍の如きは單身チタよりオムスクに赴かんとせしも中止せり西部西伯利政府の代表者も不日チタ又は哈爾賓に來るべく其の際各政府代表者集合し協議の筈也（東京特電）

ても多數の英人逮捕されたり尙佛國軍人派遣委員本部も掠奪を受け佛人の逮捕さるゝ者尠からず（倫敦電報）

◇西伯利鐵道開通

哈爾賓來電＝滿洲里烏拉爾間及び烏拉爾ペトログラード間の交通再開せられ半箇年に亙りて不通なりし滿洲、歐露間の交通は茲に初めて開始せられたりイルクツク、ペンサ（莫斯科東南百三十七哩）間は切符の發賣を開始せり（東京特電）

◇廣東承認問題

在北京公使團は廣東政府承認を拒絶の事に決せりとの說あるも某國公使館側の消息に據れば此問題は未だ左程進捗し居らず關稅問題に就き往來せる際各公使館の意見として其承認の困難なるべきを語り合へる程度のものなりと（北京特電）

◇東三省巡閲使

某所着公報＝東三省公報は今回發表の奉天督軍張作霖氏東三省巡閲使に就任命の意味を明かにせるが右は大勢に鑑み東三省の政權を統一する爲に巡閲使の對內職權は前清朝時代の督省欽差大臣と同じく對外關係は露國過激派の國境侵入を防ぎ日本と共同出兵の責任を有し東三省の軍事は積極的の統一を見る可く尙張氏の奉天省長兼將軍は依然從前通りなりと（東京特電）

◇獨軍司令部作戰

九日倫敦通信社の入手せる情報に據れば獨軍司令部は其の追擊軍に對し敵對するか或は暫く聯合軍に挑戰して殘存せるヒンデンブルグ戰線に踏み止り之を擊退す可く決したる事疑ひなしと觀測さる（倫敦電報）

◇首相政務伏奏

寺內首相は十一日午前十一時參內重要政務に就き伏奏せり（東京特電）

◇兩子首相訪問

十一日平田子は教育會議に就き清浦子は樞密院關係事項に就き寺內首相を訪問せり（東京特電）

◇樞府定例會議

十一日は樞密院會議定例日に就き清浦、金子、平山子以下各顧問參集せるが御諮詢案無く一同天機奉伺後退出せり（東京特電）

◇臨時教育會議

臨時教育會議は十六日午後一時より首相官邸に於て開會の事に決定せり（東京特電）

◇久原氏動靜

久原房之助氏は米國鐵道局より特別車使用の特權を許可され東部に向け出發せるが氏は東洋諸地方にある鑛產物を米國に供給する要件に付き協議を遂ぐべしと（桑港電報）

◇兩代議士通過

上田兵衛、神谷卓男兩代議士は十二日午前釜山着午後五時二十分發列車にて北上せり（釜山特電）

◎位記傳達式

總督府にては十二日午前九時より位記傳達式を擧行し荻田總務局長、村田兩武官、齋藤副官芳賀參事官參列の上長谷川總督より左の人々に對し夫々位記を傳達せり

從五位 判事 横田俊夫
同 同 小野正之丞
同 同 河野衞
正六位 稅關事務官 關都寅一
同 判事 切山篤太郎
從六位 中央試驗所技師 中川虎太郎
正七位 京城高等普通學校教諭 崔在翊
從七位 總督府技師 李完應
同 京城府 杉與三
同 中西政周
同 土方錦次郎

因に近く遞信技師に任ぜられたる中川銀二郎氏に對し辭令を傳達すべし

◎臨時旅費增給

七月十六日勅令を以て內地官吏旅費臨時增額ありたるを以て朝鮮總督府に於ても之に準じ總督府及び所屬官署職員旅費臨時增額の必要を認め十三日府令を以て公布さるべく右は七月十六日以降に遡り適用する事と爲れり

◎金融組合令施行期

改正金融組合令は豫て制令を以て發布されたるが施行期日は十三日府令を以て十月一日より施行の旨發布さるべし

◎殖銀役員任命期

朝鮮殖產銀行の創立總會は十月一日漢湖農銀本店に開會する事となり夫々設立事務所より株主に通告を發したるが役員は頭取として三島太郎氏に同日總督より辭令を出し又中村有賀櫻井朴の四理事候補者は同日の總會にて選擧の上直ちに總督よりの任命の形式にて即日より就任する事となり有賀參事官櫻井稅關長は月末までに依願免官となり中村光吉氏は鮮銀庶務局長を退任するに至らんと

◎殖銀打合會

十二日午前一時より殖產銀行設立事務所に殖銀幹事各農銀支配人參集前日までに會議を開き殘務に付打合せをなせしが各支配人は十三日より歸任すべし

◎海底電線修理

過日來不通中の京城大阪間及び釜山下關間電信線の海底障碍修理のため十四日遞信省修理船現場に到着直ちに工事に著手する豫定に付其の再通期も遠からざるべしと

◎京城戰時利得稅 約二十二三萬圓

京城府管內に於ける戰時利得稅額に就ては目下同府稅務係に於て調査中なるが約

▲二十二三萬圓 に對すべく內法人(六十)十五六萬圓個人(百七十九件人員二百七、八十名)若くは十月上旬調査完了の上告知書を發すべき豫定なりと右に關し當事者の談に曰く法人に於ては大正三年七月三十一日以前二箇年の所得額平均を標準として大正七年一月一日を包含する事業年度の所得に對比し差引殘金の二割を控除せし金額を戰時利得とし（資本金の多寡は所得に正比例す）個人に於ては鑛山及び船舶の賣買關係に依り賣方の受取たる金額を該所得とし何れも

▲百分の十五 を課稅するものなれば從つて其の調査も複雜にして多大の日數を要す譬へば法人に於ては大正三年に遡り營業報告を調査して比較對照せざるべからず殊に個人に於ては京城府は全部鑛業に關するものにて此の鑛業權移動の狀況を見るに鑛業家として自立するものは極めて少數にして其の大半は假に京城に居住し賣買を目的として賣買の後內地に歸還或は他道へ移轉せし者又は同出願に係る一件に就き多人數の關係者ある等一々紹介或は同人に就き調査の手數を要し尙且つ

▲鑛區出願 より賣渡迄の諸經費を差引き殘金極少なるものもあり調査は一旁非常の困難を感じ居れり

滿鐵近業 滿鐵理事龍居賴三氏談

四平街より鄭家屯に通ずる鐵道所謂四鄭線も愈々來る十五日開通式を擧行する事に決定した總辦の陳紹氏から案內狀が來てゐる全距離は約百哩位なものだらう延長の事かイヤそれはまだ定まつてはゐない西遼河の鐵橋もまだ出來てはゐない假橋の儘だ鄭家屯から洮南府に通ずる

▲鐵道の權利は 疾くに得てはゐるが之を開魯縣の方へ改める方が得策だらうといふので目下から問題にしてゐるもの、支那の方が彼の樣な狀態であるから未だ決定せずにゐる今度の西伯利亞の情勢に就いて滿鐵では松花江の船舶及び森林に就て哈爾賓邊で大事業をなすなど世間では言つてゐるが此の問題に就ては予等は少しも知らぬ尤も松花江の船舶に就ては多少權利を有つてゐる人もないではないが是等の事に就ては公にお話する事は出來ぬ牧羊の事業かそれは既に公主嶺の農事試驗所で附帶事業としてやつてゐる緬羊監理委員會に於ても

▲問題に上つて あるらしいが滿鐵では現在東部內蒙古及び南滿洲各地に於て飼養せられつゝある蒙古在來種に外國種緬羊メリノー、シユロップシアー及びサウスダウンの三種を交配し外國優良種を土地に適した在來種に加へて毛質毛量の改良をなさんとする目的で既に四年前よりやつてゐるそこで其成績を見るに甚だ良好らしい各種ともに既に第一回の雜種の飼育を終つてメリノー、ユロップは第二回雜種を得てゐる目下飼育しつゝある頭數は六百頭を超してゐるメリノー種は主として採毛試驗に重きを置き他の

▲二種は肉量と 共に比較試驗をしてゐる試驗の結果外國種の牡を蒙古在來種の牝に交配すると蒙古在來種の特有な著大な脂肪尾は細長く變じ毛叢は著るしく密度を增し殊に變化の著るしいのは頭部及び腹部に毛の密生し來つたことである而も其毛質の粗惡なのは次第に減少して細毛の量が著るしく增加し其太さ其の他の點に於ても明かに外國優良種の特徵を遺傳せしむる事を得てゐるといふ事である（東京支局）

◎敵は既早袋の鼠 作戰部長宇垣將軍の快氣焰

西伯利の大舞臺の芝居の作者たる陸軍少將宇垣一成氏を九日の日曜に參謀本部の第一部長室に訪ふや課題を府に搔かせ乍ら語る

時局に際すとはいへ今日に於ても、うさまで忙しくないとはいふものゝ、今日の樣な日曜日に迄顏を出さなければならないといふのだから閑だといふ事もいへないさ何分にも數千里といふ廣い所に那れだけの兵を出すのだからネェ……それや君一朝鮮は是れから當分の間每日每日の樣に多數の兵が朝鮮を通過するのだから各驛々に見送る幾百の人々が日の丸の旗を打振り〳〵歡呼する

▲萬歲の聲は 天地に響き、だらう何故つて……るだらう思ひ出しても血湧き肉躍るの感はあるねえもう先頭部隊は釜山に上陸してゐるだらう、若い將校等は餘り前進が早過ぎると不平を並べてゐるさうだ

談を育つて居つたハ……そうでもないが或は少し早いかも知れぬ併し是から寒くなると零度以下四十度五十度といふのだからさうなれば百日位は冬籠りだらうよ、それで寒くならない中に後貝加爾州東の大掃除をやるつもりで大車輪の活動はやつてゐるもの、どうせ來春迄はかゝるだらう、尤もう沿海州と後貝加爾州とは大部分

▲掃除は出來 てゐるが黑龍州はまだ混沌たる狀態だ敵は目下西からも東からも黑龍州に逃げ込んでゐるが彼等は踏み留まつて大決戰をやる樣な事はあるまいといつてドシ〳〵奥地へ逃げて行けば凍死餓死するより外は無い、元來彼等は今迄頭を押へる者が無かつたので增長して騷ぎ立てたものゝ、サア愈々命を取られる事といふことになると思ふ儘に騷ぎも出來

◎來年度豫算成る 前年度より幾分增加

既報の如く總督府大正八年度の豫算は各部並に所屬官署の許可を經て同附されて其查定を了し頃日來總督府政務總監等の間に數次會議を重ね大體の決定を見たるが唯增俸案其他の爲め中央政府に廻送さるゝには尙ほ多少の日子を要すべし此の大體は豫定の如く同年度より幾分增加する事と爲りし由なるが其の詳細は改めて報道する處あるべし

◎偕親學事視察

偕親學講習所第三回は十一日に卒業き三組に分れ上田、田中兩視學官阿部視學引率の下に諸政府公立尋常小學校外五校を午前午後に亘り視察せり

◎郵便所移轉改稱

九月二十一日より忠淸南道牙山郡新昌面所在の新昌郵便所を同郡仙掌面に移轉し仙掌郵便所と改稱する事となれり

◎太田理事入京期

鮮銀滿洲總支配人太田三郎氏は事務打合せの爲め十三日夜入京の豫定なり

◎西村支配人歷訪

第一銀行支店支配人西村道彥氏は月末後任者の來京を待ち十月初め滿洲赴任の筈なるが十二日總督府に政務總監其他を歷訪せり

◎山田事務長の訃

南滿洲鐵道以外長として約二十年出敏腕の聞え高く功勞少からざりし山田秀氏は去る三日病氣の爲め林病院に入院加療中の處藥石効なく八日午前九時長逝したり

◎鮮銀局長記事誤報

十一日夕刊鮮銀局長後任と題する記事中仁川阿部彥太郎氏とあるは仁川支店長龜島豐治滿洲總支配人阿部秀太郎の誤りにて四字脫落したるに付訂正す

人事消息

▲和田氏(辯護士)十日夜全州出張十三日朝歸京の筈
▲江越米治郎氏(大田郵便局長)京城局電信係長より大田局長となり十二日朝出發赴任せり

茶前酒後

◆烏蘇里方面討伐軍は、既にハバロフスクを占領し、北滿行動軍亦チタに入る、黑龍沿線の敵は方に袋中の鼠の如し。然れども彼等亦手を束ねて、自滅の愚には出ざるべく彼等今後の行動が、果して如何なる計畫に出づるやは、未知の問題なるも、形勢は最早烏蘇里沿線より、黑龍江沿線に移動し來り更に新なるフヰルムは、吾人の前に展開せらるべし。

◆然り、此新舞臺に現はれ來るべき、第一の人物は、ガモフならざるべからず。ガモフの名は、世間未だ知られざるも、彼は烏蘇里のカルムイコフ、後貝加爾のセミヨノフの如く、黑龍哥薩克のターマンにて名門の出也。而して彼年未だ四十に達せず、幾に過激派の全西伯利を風靡せし際に於ても、彼は堂堂ブラゴエチエンスクを中心とし悍然最後迄對抗せし豪の者也。

◆本年三月九日、彼は進んで極東勞兵會長を捕虜とせしも、遂に衆寡敵せず、壯圖空しく碎けて黑河に進入し、密に今日迄其機を窺ひつゝありし者。聯軍行動の雜擾と共に、彼が更に蹶起して縱橫の活動は、蓋し來るべき新舞臺に於ける、一方の立役者たるを疑はず。

◆ハバロフスク占領の先頭者、川名騎兵大尉は、雷大尉の異名あり、其遠征の途上、我從軍記者に向つて曰く。今回の戰ひ、我必ず敵の大砲を奪はんと。果して言の如し、壯なる哉。其言行能く、日東男子の本領を發揮して、餘りありと云ふべし。

◆山河未だ綢繆を飾らざるも、窮容從前、白雲飛んで、金風肌に冷かなる也。秋來る、秋來る。岩谷が潁濱、西伯利遠征の將士を送るの詩を俟ふと共に、遠征の將士を思はずんばあらず。胡沙吹く朔北の陰情、冒雪の生活ならんとする處、征人月に向つて胡笳を吹く、白露衣に重く、沙漠の秋風、轉た征人の腸を斷つものあらん。

◎東洋工業株 內容說明書進呈
資本金參百萬圓——前期五割配當
今期拾割配當可能——好利廻四割強
同社は造船業を主とし汽罐、ウヰンチ、鑄鋼等の製造を兼業し斯業界の權威者として認識され內容の堅實なる事は業界に定評あり
株數 大廣告參照
價格 金參拾五圓
中込證據金 金拾圓
◎大日本琺瑯株
資本金貳百萬圓＝前期四割配當
七割配當確實
△尙此外何株を不問好出合有之候間多少に不拘御用命御引立の程奉希願候
大阪市東區北濱二丁目七番地
合資會社 末廣商會證券部
電話 本局 三三五七三 振替口座大阪三九八五

好評嘖々たる携帶用
商工業者の羅針盤
大阪 仕入案內
仕入商人の好伴侶
第十一年九月號出づ
定價一部 一年分六冊
大阪物價新聞社

謹啓殘暑ノ折柄各位益御隆昌大慶ニ存候陳者弊店儀平素格別ノ御引立ニ依リ業務日々ニ繁榮ニ赴キ候段難有奉感謝候就テハ業務擴張ノ目的ヲ以テ此度安東縣六道溝西潮通三番地ニ製材工場ヲ新設シ同時ニ從來ノ營業事務所ヲ工場內ニ移轉シ本月八日ヨリ從前ノ通リ營業仕候間何卒倍舊ノ御愛顧御引立ヲ賜リ度奉希上候右不取敢御披露旁如此ニ御座候 敬具
大正七年九月
安東縣六道溝西潮通三番地
宮下木材株式會社安東縣出張所
主任 田伊左衞門

◎電話開通龍山四一八番
鴨綠江採木公司 鴨綠江製材無限公司 京城出張員
山崎
鴨綠江材販賣 龍山榮町一番地
新
値段は高いが龜田の靴なら安心

◎天恩海の如し

戰地へ慰問使御差遣 皇后陛下には畏くも御自ら繃帶を卷かせらる

天皇皇后兩陛下には畏れ多くも朝夕西伯利亞及び北滿遠征並に地中海に出征中の我陸海軍將卒の勞苦を御念頭にかけさせられ陸海軍兩大臣より

◈**奏上** に係る各部隊の動靜には深甚の御注意を拂はせ給ふ趣き拜承せるが時將に秋冷に向ひ北滿西伯利亞地方の嚴寒を思召され前日宮城にて陸海軍當局より捧呈せし將卒に支給すべき防寒具を御覽遊ばされしが近々侍從武官を御慰問使として各戰地に御差遣御慰問の聖旨傳達と共に日本酒、煙草等の恩賜品を

◈**傳達** せしめらるゝ趣承はる皇后陛下には前年青島攻圍戰の節戰死者遺族並に傷病兵に對し屢々有難き御諚を傳へられしが今次の西伯利北滿遠征軍に對しても御同樣戰死者遺族並に傷病兵に對しては朝夕深く御軫念あらせ給ひ日光御避暑中より御近侍に對し畏くも有難き御言葉下りし趣承はりしが近々御側近の

◈**女官** を御指揮の上畏れ多くも御手づから傷病兵に賜はる繃帶卷を御調製の上陸海軍當局に御下賜相成るやに拜聞す

口皇后陛下にも 防寒具を 御覽遊ばさる

皇后陛下には出征兵士の身の上を御軫念あらせられ十一日午前十時より大森大夫以下を隨へさせられ防寒具を御覽あり陸軍本部の前田大尉御說明申上げたるに陛下には綿密に御覽わらせられ防寒の容易ならざる兵卒の艱苦に對し有難き御諚ありたり(東京特電)

御武運の長久を祈りまつる 京城公立高等女學校同窓會

◇送る人送らるゝ人…(龍山驛にて)

(向つて上右)京城高等女學校卒業生が兵車前に一々列車を訪問して(確かりお願ひ申します)とお辭儀しながら差出す名刺、無邪氣な兵卒は非常に嬉しがつて時々思ひ出して確かり遣ります』と笑はせる(上左)淑明女學校生徒が淑ましやかに○○輸送指揮官を接待する處(下右)前記高女卒業生や愛國婦人會員が迎送の合間々々に慰問袋を縫つてる處(下左)婦人連が出發に臨んで萬歲!萬歲!と旗を振る處本社寫眞班員が若い婦人連の前にレンズを向けると恥しさうに旗を下げて了つて笑つてる處

◎遠征勇士へ 記念の花束

第○○○○隊本部の龍山通過に際して 美しい朝鮮女學生から贈る 連日に劣らぬ熱心な歡送迎

第三師團の精鋭たる○兵第○○○○隊本部は○日午前○時十分、輸送指揮官金田房三大佐引率の下に北行せり、停車場には內野第三十九旅團長、廣瀨主計監、栗原驛隊附中佐以下の軍人軍屬及び京城龍山の地方官民、婦人會員各學校生徒等連日の如く金田大佐の部下の將校一同と共に

待合室に少憩 導かれて食堂に入るや此日淑明女學校學監淵澤能惠子刀自及び松本同校理事の引率により私立淑明女學校朝鮮人女學生約十名が純白の衣服に海老茶の袴を著けたる優美なる姿にて食卓の間に現はれ給仕の勞を執りたるがこれには將校一同何れも

珍らし氣に湯茶

の接待を受けつゝ感謝の意を表し青年將校の如きは天使の如き少女達から一人一人捧げたる小さき紙片の菊の花束を持ちて本社の寫眞班に撮影を求むる者などもあり大滿足にて發車時刻となるや日の丸の小旗打ち振りて晴やかに歡送する

淑かに目送する

京城朝鮮女學生の一隊の…等女學校生徒、將校夫人、國婦人會員その他の見送りを受けて出發したるが同○時二十九分及び同○時五十八分通過の同○隊○○兩隊の通過に際しても朝鮮女學生より花束を捧げたり

▽一氣に露都に乘込んで

露國と獨逸を鬨はせる ○○少佐の氣焰

輸送指揮官

お先棒は吾々が勤めるのぢや國民はその後からドシ／＼乘込むが好い

○日龍山驛を通過した輸送指揮官○○少佐豪語して曰く『今度の出兵などに國力を賭する必要はない少部隊の兵を以てどし／＼攻めて行きやあ草木の向ふ所

▽**靡かぬ草** はないよ、なあに恐ろしい西伯利鐵道を完全に手に入れて一擧に露都に乘り込み露國をして再び獨逸に向はせるんだ、其の時は日本軍が背後になり、兵器彈藥食糧の補充を遂げ…すれば露國も何のものかは、殊に彼等の戰線では[illegible]

▽**疲弊困憊** してゐる折柄だから、東部戰線で日本軍に援けられて恢復されたら、獨逸も一瞬の間に[illegible]

▽**今や夢想** に均しい計畫より以上の成果を收めてゐる[illegible]

○第三師團○○部

釜山上陸の光景

官民學校生徒數千名 沿道に堵列して萬歲萬歲

第三師團○○部同○○團○○部同○○隊第○○隊及び第○○○獨立部隊約○○○○餘名を搭載せる○○、○○の兩御用船は九日午前六時第二棧橋に繫留されたるが同八時より上陸を開始したり棧橋には林支部長、野手稅關長、若松府尹其の他各官署長の出迎へあり、續て胸間に

◈**燦然たる** 偉觀を輝かせる○○○○團長及び第○○○長は微笑を湛へながら○○丸より降り來り出迎へ各氏の挨拶を浴びつゝ幕僚參謀と共に自動車に搭乘し○○部に入りたり夫より漸次各部は上陸を爲す

◈**棧橋道路** より稅關前を通過して停車場前大廣場に集合したるが沿道には各小學校生徒始め官民數千名堵列して萬歲!!萬歲!!を絶叫したるが又盛なる進軍喇叭の音と相和して勇ましくも勇まし、電信隊及び騎兵隊は草梁釜山鎭方面より上陸したるが

◈**各戶國旗** 及び提灯を揭げて敬意を表し散髮屋の如きは『出征軍人は半額』の貼札を爲すなど市內何んとなく活氣橫溢して見わたり(釜山)

◎歡聲湧く

釜山驛頭

萬歲又萬歲!!

將卒は大ニコ／＼連日釜山に上陸する我が皇軍は[illegible]

▽**二六時中** [illegible]

▽**汎獨政策** の如き大綱を崩したる事は出來ない、情ない話だ[illegible]

◎女軍事探偵 アンナの夫

再び某地にて活躍せん

過般西伯利に於て邦國の爲め活動し軍事探偵の名にてイルクツク監獄に入れられたるアンナ夫人を伴ひ朝鮮を通過し郷里會津に歸つた樋田茂氏は今回○○○○○○○○に依り氏の從兄なる醫學士某を伴ひ再び朝鮮經由○○地に向ふ事になつたが氏は語る『私は今回も○○より直に出頭すべしとの招電を受け去る四日出頭すると

▽**田中次長** は非常に喜ばれ是非一ツ邦國の爲盡力をして貰ひたいと云はれた其時の嬉しさ何とも言へなかつた我々雜貨商人さへ帝國の爲めに盡力するは此の上なき名譽で○○少將が居るから此の事で先方に著した上のことです昨朝あたりの新聞を見ますと例のイルクツクの監獄に

▽**入監って** あつた南岡村、同港の諸氏も無事に出監したことになりましたので喜びました彼のアンナは結婚後少々病氣なので目下福岡の婦人病院に入院中です彼の地では醫者らしい醫者もなく病氣にかゝれば死ぬより外はないのでどうかして日本から

▽**宜い醫者** を伴うて行きたいと思うてゐた矢先從兄が是非行きたいといふから今度同道したのですが私は今後○○方面に向つて○○の命を受けたのですから帝國のため活躍する考へです』

▽**お先棒を** 勤めるから行つたら宜いか言ふまでもなく我々が先に…國民は其後からどし／＼乘込まなくつちや駄目だ、軍隊は強いが商家は無能ぢや車の片輪が動いて片輪動かないやうなものさ、お先棒になる我々が泣けるぢやないか

◎傷病兵と俘虜

十四日御用船で門司へ 小倉と北方へ收容の豫定 傷病兵(橫臥患者)四十一名

野戰第十二師團第一回の傷病兵二百十七名は御用船○○丸に乘船し

獨墺俘虜七十六名 と共に來る十四日午前門司港へ入港し鐵道棧橋より上陸一應門司驛構內の患者休憩所に休憩の上同日午後一時五十分門司驛發列車にて下車夫より小倉衞戍病院に收容さるゝ豫定なり

◈**橫臥の重病患者中都合に依りては北方衞戍病院に收容**する者もある可しと傳へらる(門司特電)

▽シマコフカの修道士

◇……珍らしや日本僧侶 日本軍の爲に盡力して居る 戰爭が濟んださまゞの寂話

……シマスカヤ驛の避難民中に自分は多くの僧侶を見た、クラエフスキー驛からシマコフカ驛に至る間に大きな髮や髯を長くのばした人達が大勢步む姿を見た、此の人達は

▽**東洋第一** と呼ばれたシマスカヤのトロイツコ、ニコラエウスキー修道院の坊さんで全過激派に荒されたお寺に引還すところであつた、寺はシマコフカから五里程の東方にある、僧侶の中に自分は不圖日本人らしい人を見た、訊ねて見れば矢張日本人で日比七平氏といふ愛知縣知多郡の人であつた氏は三年以前から此寺に居て

▽**聖者の如** き生活を續けてゐたが去る七月の初旬二百人許りの修道士と共に過激派の難を逃れたのであつた、お寺に歸つた僧侶達は極力日本軍の爲めに盡力して居る、仁義に富んだ日本兵の爲めに野菜とか食料とかあらゆる物品を供給したいと奔走して居ると云ふ、初め過激派の暴徒は修道院の穀物や家畜を

▽**掠奪して** 行つた、而して附近の村を荒し廻るので院セルギー僧上は彼等に破門を宣告した、然るに七月廿日チエツク軍が引揚ると共に俄然ウスリーの過激派が押寄せて來た、信仰に篤き村の人達は自ら小銃彈の楯となつて坊さん達をスパスカヤに逃れしめ、跡に居殘つて暴虐なる彼等を諭してやると踏み止つた二人の僧侶も遂に

▽**お寺で殺** されて了つた、聖堂は破壞され或は燒き拂はれた、牛馬四十頭と冬の用意の穀物も奪はれた、坊さん達は大きな袋をもつて破れたお寺に歸る途すがら日本の義軍が來たのを衷心より感謝して居る、紅い夕日に輝くお寺の十字架、それは滿洲の鐘樓塔に於ける如きも此の露國の地方色である(シマコフカにて)(寫眞は右は日比七平氏(本誌特派記者撮影))

◎執行長は今里幽玄師

西本願寺執行長の後任は今里幽玄師と決定せり尚足利弓波兩執行は留任し松原執行は辭任の上護寺財部長となれり(京都特電)

◎沖繩の外は 全國平穩

二百二十日

二百二十日の天候は沖繩より八重山群島が暴風雨の襲來を受けし外全島概ね晴天にて例年に稀なる良天候なりき(東京特電)

◎高木良圓師 十一日朝遷化

前大龍寺派管長

[illegible]前大龍寺派管長高木良圓師は腦中樞に罹り神戶市[illegible]院に靜養中十一日遷化す

◎山室大佐入京

救世軍日本書記長官山室大佐は愈々十三日朝四時五十三分南大門著入京に決したるより同軍京城隊にては歡迎救護會を同日(金曜)午後八時より[illegible]

◎兩角檢事夫人

[illegible]

◎青年研究會

[illegible]

◎月宗婦人會

[illegible]

◎助産婦看護婦募集

[illegible]

演藝

◇京城救濟會寄附演藝會

[illegible]

演藝案內

壽座 本町三丁目 電話五七八番

大正館 櫻井町 電話八七三

浪花館 明治町二丁目 電話二六○番

有樂館

黃金館

[illegible]

聖德記念

▽十六日 正午より[illegible]

▽懸賞金 [illegible]

◎手相移轉に決す

[illegible]

仁川米豆取引 十二日の十一月限 天晴

[illegible]

面白い かゞ カキヤヒリン 手遅れぬ様直ぐ用ゐよ 本舖 名古屋 荒川長太郎

大連より

◎滿洲駐在領事の特別任用令發布と共に行政統一を期する必要上外務省が滿鐵に對し滿鐵より地方事務所長を囑託し過日赤塚總領事より承諾の旨同答ありしと同時に赤塚奉天總領事以下長春安東其他各領事は其の所在地の滿鐵地方事務所長として沿線の行政事務を見る事となりたり

◎領事の滿鐵沿線行政事務は從來都督府滿鐵との間に交渉熟議せられたる事にして昨今專ら傳へられたる如き領事が滿鐵の囑託を受諾するや否や等の疑問の餘地なく既定の事實なりしなり

◎茲に於て特別任用の領事は都督府事務官として滿鐵地方事務所長として從來の三頭政治を統一せる形式を具ふるに至れり然れども之は單に形式の統一にして三頭は相變らず三頭なり單に此の形式を以て三頭政治の根絶と思量する能はず

◎從つて各領事が實務に當りて外務省及び都督府との中間に介在し三者の意見相違の場合に於ては其の立場に窮すべしと爲し或は外交官として社の一課長の命を奉じて事務を處理するは官吏としての自尊心を傷つけ都て感情の疎隔を來すに至るべしと爲すものあり

◎或は奉天長春安東にあり領事不在中地方事務は領事代理が處理すべきか地方事務所次席之を處理すべきかに付疑義を存するものあるも今後亦實務上大なる故障を生ずるが如き事なかるべし

◎要するに問題は領事の特別任用にあり從來多く外務省試補上りの領事を任じ滿洲の實情に通ぜず所在居留邦人の利益と扞格し或は支那官民との意志の疎通を缺き特に滿鐵附屬地に於ては沒交渉にて幾多の不便及び滑稽な結果を生ぜしめ遺憾なく滿洲三頭政治の弊害を暴露したり

◎昨年滿鐵社中都督が滿鐵社長を統するに當り駐滿領事の特別任用令を布し都督府事務官又は滿鐵社員中より經驗ある者を舉げて領事に任用し事務統一を圖ると同時に滿洲の事情に精通せる者をして在住邦人の利益を保護し其の發展を策せしめんとす特別任用の趣旨此の他に出でず吾人は滿鐵社員が新に領事となり新に所謂領事に恥ぢざる沿線在住者のため盡す處あらん事を望む

◎其の上司の二頭なると三頭なるとを憂へず要するに實務に當る者の實際に徴するに俟つべし都督府にては一般行政令を制設し滿鐵及び民間有力者を以て各都市に協議會を設け衞生其他一般に亘りて事務を處理し其の統一を圖りつつあり更に之を擴張して各地の領事をも參加せしめ其の制合の根源を協議し其の内に必ず一に圖るに至らば茲に始めて内容外形共に完全なる統一を見るに至るべく亦二頭三頭を患へざるなり

◎安東縣大豆

有力なる日本商人の語る處に依れば安東縣に集散する大豆の産地は鴨綠江の上流、通化、寛甸、懷仁、鳳城、安東、岫巖及び其の附近にして一昨年安東に出る大豆は日本石に換算して約七十萬石なるべく此の内豆油原料として消費せらるゝもの四十五萬石内外なるべきか又大豆北濱にて輸出せらるゝものは十五萬乃至二十萬石の見込なり近來安東に於る豆油工業非常に進歩し最近まで十三戸位なりしが今年度に入りて新に油房十戸を增加し中のもの五戸あり隨つて原料大豆に不足を告ぐる事あり近年鐵嶺、開原、四平街方面より鐵道にて輸入せらるゝもの二十萬石を下らざるべし

元來安東の豆油は從來透明にして且つ褐色を呈し居る爲品質は良と認められ居り上海、山東、天津等の需用頗る夥かりし爲一度大連地方へ移出せられ再び其他の方面及び各都市に供給せられたるが近年品質に於て殆んど大連營口地方産に劣らざる事判明せしを以て追々安東より直接取引の消路を開くべし今年の大豆作は一時降雨の爲幾分減收にはあらずやと顧慮するものありしも最近の消息によれば鴨綠江上流一帶には水害なく一般に豐作と見るべきものなく…らんと噂し居れりと云ふ(安東)

◎林公使の時局談
總統問題=西伯利戰=歐洲戰

北京駐劄林公使は據肋男一行は八日朝大連驛着國際理事長其他の出迎へを受け大連ホテルに投宿日午前旅順に中村都督を訪問し北滿洲に關する重要なる打合せを爲し同日午後歸連十日午前十一時發哈爾賓丸にて大連發東上せるが往訪の記者に語りて曰く(大連)

徐世昌氏の大總統

就任は時局收拾の爲め其の人を得たるものなり副總統は軍人が選擧するや政治の限に非ず北滿出兵に就きて北京官界は何か力ある對する如く傳へらるゝも強ち然らず何處にても政爭政派又は學者等が其の意見を異にするは止むを得ざる處

西伯利亞策は

慎重なる考慮の下に行はざるべからず(と話頭再轉して歐洲交戰國の事に及び)兎に角獨逸が近來著るしく疲憊し來れる事は爭はれざる處なり其の戰地に於ける兵士は精鋭を缺き國内の力亦著るしく減退せるを知るべく其の戰ひや結ぶ上に就きても亦非常なる苦心を爲し居るもの如く又獨政府が世界を敵とするの

勇氣の衰頽せるも

事實なり最近西班牙の獨逸潜航艇に擊沈せられたる汽船の代償として抑留艦船の引渡と交渉問題の如きも之れを數箇月前の獨逸の意氣込みより見れば斯の如き交渉に應ずべき氣色さへなかりしが西班牙に讓歩し其の要求を容れたるが如きを見るも亦獨逸の國力著るしく衰退し其の政府が平和に眷戀し其の戰場に於ける弱點を自認し好んで事端を滋くするを避けんと勉めつゝあるや明かなり

揣摩憶說の甚しき

なり段内閣の崇送は自然の政治現象として出兵問題亦は借款問題の行き詰りとのみ見るべからざるなり對支外交に就きては日本にて議論百出ものあり亦止むを得ざる處なり予の觀を以てすれば對支問題も漸次日支兩國の諒解に因る眞の接近の交といふ方面より見て昨年來順調に進み來れるものと信ず然れども時に小波瀾の伏起するは亦止むを得ざる處なり支那政府の金券統一に關する借款に就きては予は全く關知せず或は内外諒解せりとか或は暗に妨害を試みたりとかの評あるも是は世評に任じ予の關する處に非ず亦

支那財政幣制改革

に就きても予は財政家に非ざるを以て特に意見を有せずと更に話頭を轉じ我國の北滿出兵は更に議論無効なれど出兵準備遅延せる爲め北滿地方は既に秋寒の襲來近きに在り且つ西伯利亞西部地方に在るチェック族は破竹の勢ひを以て東進既にチタを占領し東方各地のチェック族と連絡を取るに至り日本及び聯合國出兵目的は

一段落を告ぐるに

至れり彼等の行動は眞に疾風迅雷の機敏にして歎賞するに堪へたり彼等は民族の精鋭を提げ嶮峻たる敵地に於て轉戰連勝して今や民族の糾合に勉めつゝあり吾國始め後援の聯合國は今後更にチェックの爲相當の援助を與へ其の國家を公認し或は其の建國の援助を爲すに至るべきが同時に吾國の對

◇戰線の獨墺俘虜

烏蘇里戰線のスウヤヤナ驛に着いた時、自分は浦鹽上陸以來初めての俘虜を見た 俘虜は淡黄色の帽子を冠つて銃を持つた者もあればシヨベルを握つて濠を掘る者もある、何れも銃劍を帶けた日本兵の監視をうけながらコツ〳〵と農家の犬の如く働いてゐる。スウヤヤナの俘虜は掘割等に捕へられた者は固より多く四年以前から露軍に捕へられて居た者である、人數は二十人石炭運びから鐵道運び水汲みあらゆる仕事に使はれてゐる、一人の墺國人に故郷は何處かと訊いたら『ウエンゲルスキー』マヂヤールです』と答へた、兎に角俘虜も日本軍に來ると大喜びである(スウヤヤナにて金谷従軍記者發)

◎安東と木材(續)
=材木で賑ふ安東縣=

日に月に積み出す木材は頗る多量に上る若しも之を汽車積みとして各地に送るに如何程の積み込み手數料を要するかと調べて見れば滿鐵と鮮鐵と同様で、貨車の積込料が金六圓十錢、貨車引込み料金五十錢、針金代一圓五十錢、支柱代金八十錢合計八圓九十錢となる、依つて一車の積載量が約七十尺締であるから一尺締の積込費用は十二錢七厘に該當する尚又之を朝鮮方面に送るとすれば輸入稅として七分五分を課税せらるゝけれども

◆**輸出稅から** 五分の内の三分の一は免除となる、又之を日本の内地に送る事とすれば一立方米突に就て一圓八十錢の輸入稅を課せられる、然に注意すべき事は其一噸は我日本の千五百十二斤に相當し、朝鮮鐵道は六噸扱ひであつて滿鐵の貨物は米噸數扱ひであるから我國の千六百九十三斤弱に相當する又滿鐵の貨車は三十噸積載する事が出來る、一尺締に要する鐵道運賃幾干なるかを見るに蓋手數料を含んで安東から釜山迄一圓二十錢、仁川迄八十二錢、京城迄九十八錢、平壤六十五錢、鎮南浦七十五錢、新義州七十二錢、元山一圓四十錢、大連一圓三十九錢、長春一圓四十一錢、奉天七十四錢、撫順七十四錢に相當する

◆**之を海運** に依るものとして各地に送るに何程の運賃を要するかを研究して置かねばならぬ、汽船積みは結氷期と解氷期とあるが安東大連間には毎年解氷の後大連汽船や政記公司の航路が開けて專ら木材の輸送に著手する、運賃は時に依つて一様ではないが一千才當り八兩乃至十五兩の間を昇降するものと見て差支はあるまい今一千才當りの運賃を十兩として計算して見るとして、其他一尺締の運賃を見ると

◆**各仕向地** 安東から木材を積み出すとして、積み込み費用を加へて船運賃の大要を見ると、釜山二圓、上海の汽船積沖渡しが金二圓五十錢、門司艀積渡しの釜山五圓二十錢、神戶、大阪渡し同四圓八十錢、横濱、長崎も同様で同樣八圓二十錢となる、安東の木材に就て上述は單に山から伐り出して各地に輸送する迄の順序を述べた丈けである、又追々製材方面に筆を起す事として今迄は是で終とする

◆**實際の積載** 量は木材の距離の貨車は二十六噸積みであつて、最近積載量は滿載が十噸、鐵は十四噸となつて居る大小や巧拙にも依るけれども、且つ現に元の鮮鐵では六十尺締内外を通は滿鐵の貨車で原木八十尺締内外の積載する事が出來る、一尺締に要する鐵道運賃幾干なるかを見るに

◎領事と所長兼任

滿鐵沿線領事の滿鐵地方事務所長囑託に就きては領事館側にて承諾すべきや否やに就き疑問を懷くものあるたるが都督府及び外務省の方針既に決定し居る事とて何等の滯なく赤塚奉天總領事は六日附を以て所長囑託承諾の旨を回答して奉天長春安東地方事務所には從來にて領事特別任用及び滿鐵沿線行政問題は一段落をつけたり而して其の如く所長の下に滿鐵社員の主任を置き領事館を開原、公主嶺、四平街其の他數ヶ所の地方事務所は從前に異なる處なし(大連)

滿洲土產
岩石や石綿また
滑石、耐火粘土の類
大理石と見誤へる菱苦土礦
◆熱すれば石油を得る

南滿に産する岩石類で珍らしいのは、オイルシエールと名づけ之れを熱すれば石油を得るといふ濾質頁岩、又蛇紋石と關係あり而も石灰岩中に存する石綿多量に産する滑石、一口毒異の感ある耐火粘土、層狀をなせる鐵礦、菱苦土礦と呼ぶ大岩石等、其他赤味ある花崗石や赤色の砂岩の多い事苦土質石灰岩の著色の種々なる事などである

◆**菱苦土** 大石橋停車場附近の粗粒狀菱苦土礦は其量の大なる、内地人の想像にも及ばぬ所である、菱苦土礦の岩石は大きな碑石や長い旗の柱などに造ることが出來る菱苦土は之と共出する白雲石(ドロマイト)と一見區別し易くない白雲石は是程粗粒質でない、又之を分析して見れば酸類に溶解する力が強く其他硬度等も異にして居る。昔は分析を行つたとがなかつたので單に大理石と看過して居たが之れを燒いて石灰を造らうとしても成功に終つた爲、化學分析を行ひ初めて其大理石でない事が分つた、日本内地には菱苦土礦はなく又苦土質の著るしい石灰岩に乏しい、由來製鐵所では僅に戰前と戰後の白雲石を以て滿足して居つたのである、然るに南滿では却つてセメント製造に必要な非苦土質石灰岩に乏しいのは奇と言ふべし

◆**石綿** 金州地方の石綿のに岩たる苦土質石灰岩は尚其の西方にも諸所あるから或は同樣の石綿の新發見をなすこともあらうか、此に角苦土の害は人間の害と關係がないから南滿に苦土質の岩石の多いのは喜ぶべきことである

◆**滑石** 滑石は大石橋地方母岩は驛より三里程の聖水寺、大嶺等にもあるが海城地方が著るしい之は母岩たる菱苦土礦及び白雲石等に網狀、レンズ狀をなして存して居る。其の中に棲くまふことがある

◆**用途** は紙を造るに光澤を添へ又鱗用化粧用のタルクム、普服裁縫用のチヤコとも成る、其の他護謨、屋根瓦、皮革、絲織物にも用ひられ機械類の摩擦防止に役立つ、又其の緩衝なるは劇つて緩となる

◆**金州** 停車場から三四里、和尚山には石綿を産する、此石綿

黃金の十字架

此の脚本は古い西洋の小說を飜譯したもので此の脚本なるものを茲に紹介しよう

◎朝鮮劇

◆舊劇も新演劇もある◆

朝鮮劇と云つても十年前から噂話に加藤遊覺氏の調査に據ると朝鮮には由來明白なる意味に於ての演劇なるものなく單に古來の風を傳へて遊戲的の歌舞を演奏する者はあつた役者は朝鮮語で云へば之をクヮンテー(廣大)サータ(舍堂)コーサ(踞坐)等の名稱があつて文書の上には之を俳優又は才人と稱してゐる朝鮮には現今もあるが舊劇と云つたもと漸く明治三十七八年前後に始まつたものである舊劇の筋書は是まで書物だけに出てゐるから後廻しにして新派の脚本なるものを茲に紹介しよう

舊芝居も新演劇も

氏の原文へ掲げるものである以下伽藍西班牙の名門ガストン伯爵の名優ランレット嬢ら其の一劇場に釣り詰なる入或日巴里の一劇場に釣り詰て之を忘るゝこと能はず遂に莫大なる金を投じて彼の女を外妾となしたるに妻子を忘れ名門たることをも忘れて米國に渡航し爾後約一年有半有らん限りの奢侈を盡してラレットを喜悅せしめんことをのみ思考せる中彼れ伯爵は最早凡ての錢を浪費し了りて遂には飢渴に迫るの窮境に至れり然るに女優ラレットは無情にも伯爵を棄て、其の行方を晦まし或る他の富豪と同棲して四方に周遊せるの報を耳にせり茲に至りて伯爵はストン初めて多年の迷夢より覺め來りそれと同時に己の罪惡の過大なるとを悔悟し暗夜公園の中にありて自殺を決行せんとせるの際牧師ダールを氏偶々此處を通過して之を救助し頗る之に同情して彼れを故國に送らんことを努めしも然るに一方巴里に於ける伯爵夫人は久しく貞節を守りて其の身を全うせず其の一女なるエミリを送りて修道院に入らしめそれと同時に己も亦清浄なる生活を送らんとする者嬢の人となるべく決心せる折柄夫伯爵偶然米國より歸り來りて前非を悔ひて切に同棲を求むるに遇ひたりしも遂に之を拒絶して己の素志を貫徹せんことを告げたり伯爵は已むを得ずして修道院を訪問し其の女兒エミリに會見して己が罪惡の終始を告白したるに神父ラパー師が之に同情して熱心一家の復讎をなさせるの中エミリ嬢突然重病に罹りて將に危篤に瀕せんとせるに當り之れ亦熱心父母の同棲を懇請して已まざるの結果夫人も遂に承諾して目出度同棲を誓ひたりしを見屆けエミリ嬢は神を讃美し喜びに充ちつゝ昇天せりとのことを叙す

◎黃繭と白繭

南滿に於ける蠶業は近年發達し著しく殊に蠶種改善の結果收繭額毎年增加せるの傾向あり本年春蠶期に於ても黃繭掃立枚數一萬二百九十三枚に對し三千六百八十五石の收繭あり又白繭掃立枚數一千四百四十六枚に對し四百六十五石の收繭額あり斯の如き狀態なれば蠶業の栽培も日を逐うて改善せられへの中心地たるは疑ふの餘地なからんか(大連)

◎馬鹿々々しい流言
京城の近所で戰爭が始まる

朝鮮人の一部には昔から何かしか事件が起るとヌキへ居に髷をつけた流言蜚語が放つ癖がある 此の間京畿道の満洲の方から飛んで來た話は何か間違へたものか解らぬが近頃平壤地方では例の汽車時刻を見に迄て奇妙な流言盛が一般の鮮人間に傳へられた、ソレは京城の近所で戰爭が始まつたから汽車の時間が狂つたさいふのであるが西比利の奥にある敵兵が滿洲へ西鮮を逃避して何うかして京城の近所へ現はれる事が出來ようか少しく思慮のある者なら直ぐ判る事だが夫れが存外にも流布してゐる者があるさかで目下當局にては其の流言の發頭者を取締らぬでも(平壤)

◎美麗

なる白色の纖維である石綿は蛇紋石などの誤解を避け得た石綿は其の紡績したものは一旦紡綿なるを以て耐火性板紙、保温材、屋根瓦等の製造に充て又布片に織りて消防夫の防火衣、劇場の防火幕などにもする、石綿は斯有用なる鑛物の一であるが我邦及び附近に其の大産地のないのは遺憾である(神保理學博士談)

(張 三 李 四)

◇**可惜六歲を一期に**◇ 仁川花町三丁目古物商倉藤猪吉長女キヨ子(六)は近所の海中に入り海水浴をなしゐたる所折柄滿潮の潮疾かりしため遂に溺死したりと

◇**驛に一夜を待明す**◇ 釜山發南行列車は各四五時間も遅れし事とて内地より來りて宿泊料の持合せなき者は驛待合所にて次の列車を待合はす外なしと

◇**眼病のある女賊**◇ 大分の藝妓鞆江こと村上もとこと大分の藝妓縣生れの富永某と大分より驅落して朝鮮に逃れたる形跡ありとて大分署より照會ありたり

農信

★**大豆(忠北)** 忠淸北道内に於ける大豆の收穫豫想高は前年に比し幾分の減收を來たすの觀あれども是は近年になき大豆作と作付反別多き爲め其收穫は未曾有の成績を示したるも本年度に於ては一部にありて旱地棉作を試みたる結果總額に於て若干の減收を見せり然れども概して一般豐作の模樣なれば豫想以上の增收を觀るならんと其狀況左の如し

郡	豫想額	郡	豫想額
淸州	二八一三七	忠州	一四八八四
槐山	一〇五一五	沃川	一六四四四
鎭川	九九二〇	陰城	一二五四二
報恩	一八六〇	堤川	一七六三〇
丹陽	八八四四	計	一四八五〇九

一番ヨクキクかぜつねぐすり 藥
蛇印 アンチピリン丸
▲特長 ◇最新高貴藥の配伍 ◇絕對に副作用なし ◇胃中に溶解し易し
▲主效 ■感冒、ネツ ■インフルエンザ ■頭痛・麻疹 ■リウマチス、オコリ
▲藥價 十錢、十五錢 廿五錢、五十錢
本舖 大阪 東京 丹平商會
賣捌は全國各藥店

京城古市町電話一七四六番
畑硝子工場
畑弟兄
製工場特製八合エキス瓶ニ限ル其他一般の御注文に可應候

花柳病專門
外科
梅毒・痳病・泌尿生殖器病・睾丸病・痔・肛門病・皮膚病・婦人病・神經衰弱・ヒステリー
606
京城南大門通農工銀行裏
司生堂醫院
電話三〇六五番

拾圓の品を五圓で買ふには
新たに製造出來
半値段
生産地へ直接に注文するに限る、當地の織物は産地に……
●特産セル地 ●最上紺立高貴織 ●本場特製銘仙 ●金紗御召 ●足利銘仙 ●物縞織

るいれき
手封入中途の方にスグ
ルイレキ
播州明石町
讃山家本邸

感ずる所有之自今禁酒可仕候
須川久彥

資本金 貳千貳百七拾萬圓
積立金 壹千參百參拾萬圓
總預金 貳億七千萬圓
株式會社 第一銀行京城支店
京城本町二丁目
振替貯金京城一一六一番
電話 二三・七番
頭取 佐々木勇之助
支配人 西村道彥

秋の旅行鞄 魔法瓶は
旅行具專門
岩田鞄店
京城本町一丁目

內科 小兒科
村上病院
京城永樂町一丁目(商品陳列館前)電話六二三番
院長 醫學士 村上龍藏
副院長 醫學士 瀨々鈴一郎

信用ある東京三金の靴
三金高等靴店
東京芝區露月町一七一番 振替東京一一〇九六番

眼科專門 入院隨意
江頭眼科醫院
京城明治町東拓横(電話二〇四四番)
日曜祭日午後二時迄
江頭富雄

懷中要藥 淸心丹
東京日本橋元大坂町 高木與兵衞
一 氣分を爽にし 船車の不快、過酒食、嘔吐下痢、時候アタリの應急藥 胃腸を丈夫にし消化を進め赤痢、コレラ、腸チフス等の豫防となる

診察時間
自午前九時至午後六時
初診の御方は可成午前中
京城長谷川町一丁目(朝鮮銀行裏門前)
シメノウチ齒科醫院
電話八一二番

あらゆるもの無手數にて取扱申候
化粧品石鹸問屋
伊勢勘
大阪市南久寶寺町三丁目 振替大阪二八三五番

發着船 午前入港新羅丸二三等客…九日午後金山入港三等客…太郎、同容惠子、中村源造、松村利男…

仁川期米 十一月限 二十七圓八十錢…

京城日報

商況

東京期米特電
十二日前場 一節 二十六圓八十錢

兵庫期米特電
未着

大阪株式特電
[illegible]

大阪三品特電
[illegible]

大阪期米特電
十月限 四一、八〇〇
十一月限 [illegible]
十二月限 [illegible]
一月限 [illegible]
二月限 四〇、八〇〇

下關期米特電
十一日前場 先限 二十七圓七十錢 節二 七十三錢

雜部
[illegible]

●綿布無茶相場
綿布は先月末より暴騰に次ぐに暴騰を以つて漸く一移入商さへ在荷を掃に内地相場以上に振り立てゝ行くにも百圓の大關門を突破して昨十一日には二十圓乃至二十五圓に騰騰したるが此の

愈々在荷缺乏
し三二一號の如き各自所持の品なく眼先多少の入荷ありしも今や以来手持の結果十月以前の約定に係るもの少なく眼先順調の入荷見込みもなき時は恰も需要季節に入り居れる際とて手持の向は無茶に高値を吹き掛け又之が一般の相場として賣買行はるゝといふ現狀にて今や採算など殆ど

腳裡に止む
者なく只管に買ひに乘ずる始末にて今朝は又々十圓乃至十五圓の

四百三十五圓乃至四十圓
なりとせられ現下の內地相場と比較して約五十圓の高値を示すに至れる況の如何に無茶苦茶相場なるかを示せり

一巡行渡りて地方筋既に日ず順調の成行
と見るべく

三品仲惱み（大阪）
三品は昨年來暴騰し四百二十圓台の高値を示しがの不安の入荷に依り賣物に壓され一息吐けりの利がある地面にて今朝は小商なから八圓で四百十八圓四十錢先限綿布は三銘柄

先物十四圓四十錢
より二十錢方低落せり

●正米睨合ひ
正米は前報の如く精米口一齊賣控への方針を取り僅かに上品望みの小口合ひあるのみにて引續き市內

●金物材不味
下落の結果は之が材料とする物類に影響を及ぼし物により市況一定せざるも概して不振の傾きなり洋釘は一般上げ賣成ながら賣値下押し模樣も持ち直さず大阪市場もの後持合の狀態に推移せるを以て入氣落付模樣なり

●穀物組合開市
今回組織されたる京城穀物組合は去る十日の創立委員會に於て愈々來る十四日より開市する事に決し同日は初取引として午前十時より十二時迄の間に開市祝賀の商內を行ふ

鐵板薄物
の如き多少相場下押して軟弱也

●肥料は弗々
肥料は昨今麥作の秋肥として過燐酸石灰等の荷動きあるを以て需要は順調に向ふべく

下關相場
▲朝鮮米は…鮮米の輸入に過ぎざるも何分內地米の形勢依然として不安なり

釜山市場 十日
▲玄米不況 出廻り少く入荷も少なくして相場は依然軟弱の傾向あり

南大門廻穀
▲水原白米二七叺 ▲仁川外米一〇〇袋 ▲元山白米九四叺 ▲西氷頭豆七〇叺

生魚市場
▲京城魚市場の丸市場 仁川は例の通り鯛鯖等にて…

▲仁川たい五〇 ▲群山たい三〇 ▲さわら二二 ▲すずき一三 ▲ぶり二一 ▲はも二五 ▲さば一 ▲にべ一〇 ▲かつを二八 ▲さより一五 ▲たこ二〇 ▲あわび五〇 ▲赤ひ四五 ▲小たい三八

各地商況
◇大邱米況 十日 大邱期米寄付廿七四十八錢と十丁上放れの高調

◇木浦米況 十日 輸出制限に就て…

●製繩器昂騰
本年度の製繩の需要は…

割方の昂騰
を來し昨年來五六割の高値をなれり

●皮革類先高（米國）
品は輸出制限されて之が特許の交附を免じ得となり今後の輸入殆ど絶無なりば十一月以降に至らば在荷皮は一層缺乏すべく

缺乏の大和製 底皮
…

前途一大波瀾
…

市場雜觀
▲天候 天各地電報未着にて當地先二十四圓二十錢と十六錢高…

仁川期米
○十二日前場
天候晴天冷氣にて今期各地入電未着當地先限二十四圓二十錢と…

同事に寄付き物多く徐々に十二錢を押したるが押目は又…

先限⊖二十四圓二十錢下九七錢…

仁川取引所
十二日十一月限

▲引跡大阪四節七十四錢五節八十錢六節八十六錢東京八十錢兵庫五十八錢の入電

就きては其筋に於て大に取締るの必要あらん

前場	寄付	高値	安値	止
一節	二十四圓二十五錢			
二節	[illegible]			
三節	[illegible]			
四節	[illegible]			
五節	[illegible]			

賣買取組高 九月限 十月限 十一月限

後場 前日と比較

北濱たより
▲郵船の增配說
一派が郵船に著目して打ちに於ては少なからざる買玉を行し而かも正株なら引取りつゝある爲めに昨今株がスレとなりて日歩の如きも無日歩となりつゝあるさ共に同株がシゲカリの歩調を呈し居れるより其の引續きにて定期の同株も又た引續きの…

仁川米豆取引所仲買人 廣澤正次郎 仁川海岸町三丁目 電話長七〇六番

仁川米豆取引所仲買人 今村覺次郎 仁川海岸町三丁目 電話三一三八番

仁川米豆取引所仲買人 大五仲買店 店主 [illegible] 電話長九〇三番

仁川米豆取引所仲買人 倉 [illegible] 電話三五一〇番

朝鮮米豆取引所仲買人 田中金兵衛商店 仁川海岸町三丁目

株式會社仁川米豆取引所仲買人 高田仲買店 仁川海岸町三丁目 電話長一一九 ●前金附注文は紹介を不要す ●營業案內及電信略號表進呈

白米標準値 四十圓
白米小賣値 一等白米 四十錢五厘 二等白米 四十錢

卅六番角力
毛谷村六助 第六席
桃川桂玉口演 浪上義三郎速記

天野小傳次は六助の爲めに組み伏せられて、飢たる鷲が小雀を押へしに異ならず身動きだに出來ず 天『ごうぞ六助殿お離し下さい、ア、苦しい』六『俺は人樣より宿意遺恨を受ける覺わは無いが一體貴下は何誰樣ですか』天『六助殿お許し下さい拙者は當領主三河守殿へ仕ふる天野小傳次と申すもの實は今日手前門弟大田久永今尾の三名が御身の手の爲め醜い目に出遇ひ、事の善惡を聞かぬ先に恥辱を受けたるのを聞かぬ先ならば兎に角、承はつて見れば見るに忍びず門弟の恨みを晴らさんと存じ武運拙く六助殿御身の手に斯く押へられては已むを得ず、サア殿

早速け隠れは致しません、御身の存分に成し下さい』聞いて六助は驚き押へた手を離し飛び下つて兩手を突き頭を下げ 六『これは先生樣俺こそ粗忽しました、今日黒崎街道の清蔵の行逢ひより飛んだ騒ぎを引起し申譯がございません、ごうか今日の事は水に流して勘辨をして下さい 天『六助殿我等こそ誤つて如何であらう貴下に折入つて御願ひ申度き儀がござる 六『之は改まつての先生樣の御言葉俺の樣な賤しき者へ頼み度き儀とは何事でございます 天『如何でござる斯く云ふ小傳次を門人の部に加へて戴く譯にはなりますまいか 六『之は旦那樣めつそうも無い貴下樣を弟子にするなんて云ふのはさんだ話し、俺が惚れて居る事だけは御斷り申しませう』と始めて小傳次も安心をしました 天『扨大田久永今尾サツ此方へ這入つてやい』聲かけ

られて三人はイヤ是は 六『サツ旦那樣方ごうぞ此處へ』氣より悪しき禮を仕つた、異事で御目に掛るものでござい 六『旦那樣方如何でござります、黒崎街道の一件は最う一度やり直しをしませうか 三人『ヘイ夫には及びません』と天野小傳次は六助と深く約束して三人連れで戻りました、扨て之れより毎日閑があると六助の許へ來て、劍道を一心に稽古を受けて居りました。日が重なるに從つて小傳次は六助の武術の妙に達してゐるに益々驚き且は又其の質もあり大の親孝行ですから、底から良き師に附いたりと喜び居りましたが、かゝる武術の名人を

此儘にして置くのは惜いものであると密に重役へ此由を告げました然るに重役衆が、夫程の武術の達人を、鬼一人丈け稽古を受けに行くと云ふのは惜き事である、一層の事出稽古をする樣に御身より宜敷御傳へを願度い、小傳次も喜こんで早速に此趣きを六助に告げました、御城內へ出稽古とは畏れ多い事でございますと辭退をしましたが強て云はれて六助は毎日出稽古を

して居ります、家中の人も斯くの如き名人は領分毛谷村に居ようとは思はなかつた、遂に大主三河守侯の耳に入り一日御前に於て六助の稽古振を御覧に成り天晴の腕前ですから稽古も終り改めて目通り申附ると御聲がかゝりました故直樣、支度をして殿の御前へ兩手を仕へ 殿『コレ予は三河である、六助か面を上げ』六助は畏る〳〵頭を上げ、此時三河守殿縁先に六助の面を見れば眼は爛々として人を射るが如く鼻高く口大きく眞に豪傑の骨格が備はり 殿『如何に六助改めて予が今日より臣として召抱へ取らする、ぞ』六『恐れ入ります、難有き御領主樣の御言葉の中ではござりますが、然しながら俺は聊か身に望みがございまして 殿『扶高の望みか』六『イヤそうではございません、手前は彦山權現の前より武術の修行を致しました故、手前の腕を一入試したく、手前より若し勝ちまする者がございますれば何時なりとも御召抱への御言葉は有難く御受け致しますが、夫迄は御領主樣の御言葉たりとも御受けは出來ませぬ。

幾野醫院 龍山元町（電話二〇四番）

九月十四日 九星 舊八月十日 甲子 [illegible]

◎固城紛擾事件
佐々木一部長談

八月三十一日慶南固城郡內山里漁場に於ける日鮮漁夫の紛擾事件に就て佐々木一部長は同事件の報告に基き左の如く語る 內山里漁場は…役せる二百餘名は請負制の給料にて從來にては…するを得ざる增額を迫り…度を示せるに據り同地漁業者の間に…にては警戒すると共に兩者の間を調停せしも結果從來八圓なりしを十圓に增額する事に決定せしを以て彼等は十五日間に增給するにあらざれば就業せずとて頑として…折柄其の場に立ち會たる…郎、西村吉太郎の兩名は…度を憤り余まりの…に暴行を加へんとする氣勢を示し殴打せしに騒動を勃發せしむるに至り暴等は狂犬の如く日人漁業者を襲ひ暴行を加へんとするに至れり…本方に避難し內地人四名は…て神に難せんとする際…見され石塊、薪等を船中に投じ…まれ逃難するに由なく遂に海中に飛込み危難を免れたり此の急報によりて統營警察署員、固城憲兵隊員等は馳つけ午後六時頃漸く鎮撫するを得たるを以て主謀者十九名を拘引し嚴重に取調中なり彼等は逮捕されし者を解放するにあらざれば就業せずと放言し未だ不穩の形勢なるより極力警戒に努めつゝありき

京城府告示第十一號
大正六年度京城府歳入出決算左ノ如シ
大正七年九月十二日 朝鮮總督府京城府尹 金谷充

[illegible]

荊妻はまさ儀豫て病氣の處養生不叶本日午前九時死去致候此段生前の辱知諸彥へ謹告仕候
九月十一日 平壤山手町
兩角斌 山邊勇輔 小平保藏 松寺竹雄 青木戒三
親戚總代 友人總代

賛化病院 京城西四軒町一丁目 電話二四番
內科 小兒科 入院隨意 無料施療 每日五名を限り
醫學博士 古城憲治

鐵 鋼材 浪板 平板 針金 洋釘
ペイント、油類一切 コークス、セメント 耐火煉瓦、モルタル スコツプ、シヤブル 帶革、ロープ 機械、工具 附屬品 其他
白神洋行
新田帶革總代理店

尼崎汽船出帆
下關、大阪行 第二大運丸 [illegible] 日後四時出帆
群山、木浦、下ノ關、大阪行 [illegible]
群山代理店 仁川海岸通二丁目 [illegible] 回漕部

共同汽船出帆
大連直行（開航） 共同丸 九月十二日 [illegible]
仁川代理店 [illegible]
元山代理店 [illegible]
京城取次店 南大門（電話二七六〇）河村運送店

朝鮮郵船出帆廣告
[illegible]

日本郵船出帆
大連、天津行 [illegible]
仁川海岸町 堀回漕部

大阪商船出帆
[illegible]

釜山出帆廣告
[illegible]

汽車
[illegible]
▲京釜線南行（定時列車）
▲京仁線
▲湖南線
▲群山支線
[illegible]

京城日報

第五版

……[illegible]……たりしベッドフォード氏要件長こが其新[illegible]は極めて組織的に行はるべく[illegible]隨つて石油に對しては未だ管理令[illegible]……八割を呼ぶあり小規模の資本の[illegible]製油業者中には原油價格を公定す[illegible]油の最高値を公定する事なきが[illegible]るに至らざる而已ならず[illegible]

▲需要愈增加しつゝあり[illegible]方面に制限さる[illegible]於ては自動車の如き例へば必需用ご娛樂用ごを分ち娛樂用に對して[illegible]給上尙不足を生ぜざるが[illegible]は當分容易ならざる容の如し。

京城日報

農本立國論（下の上）

國民の食物を自給する能はずして、之を國外に仰ぐは歐洲諸國皆通の例にして、各國共に多少ごも食料を他に求めざるはなし。是れ[illegible]するこ、工商業發達の[illegible]來れる必然の勢ひにして[illegible]固より之を國家政策遺漏の責に歸すべきにあらず。かくて歐洲諸國は食料の需用地にして、之が供給地は、同じく歐洲の一國たる露國を初め、南北亞米利加、印度等を主こし居るものにして、歐洲大小の諸國は、共食物の獨立を失へるの邦なり。露國は年々六七億留の穀物を輸出し其の仕向け地は重に獨逸なるが、露國は穀物を輸出する代りに、衣服什器、工藝品機械類等を國外に仰ぐは勿論、副食物の一億四千留は亦外國よりの輸入に係る。乃ち露國こ雖も、完全なる食物の獨立を全てるにあらざるなり。

內國產の食物の缺乏せるは、世界中英國より甚だしきはなし。必需食料の外國より輸入せらるゝもの二十億圓の巨額に上り、內國に於いて產出する穀物は、全消費高の五分の一に過ぎず、而も農民の都市集中の勢ひは、潮の寄するよりも激しく、滔々こして之を防遏するに由なく、田園は年こ共に荒廢に歸すること、年々の統計に現はる、農耕地漸減の數字が明かに示す所、之に反して農產物の輸入は、年こ共に益々增加するの勢ひを呈せり。乃ち英國は其の國內に產する食物は、全需用高の二三割を給し得るに過ぎざるを以て、一朝有事の際に、三四箇月の海上封鎖に逢ふが如きこごあらば、英國人は挙つて餓死せざるべからざるの危險なる狀態に在こいふべく、されはこそ英國に於ては、莫大の國費を投じ、世界第一の海軍力を備へ、如何なる國も、如何なる場合にも、斷じて英國の海上を窺ふこご能はざらしむるの武力を維持するなれ。且英國の自由貿易を政策こするは、是等の必要上より、來れる止むを得ざるの自衛策に出づるものなるを知了すべし。而も今回の戰亂に際し、獨逸の潜航艇作戰は幾回か英國の海上權を劫し、英人をして危惧の念を懷かしめたるは、掩ふ可らざるの事實なり。若し獨逸の海軍にして英國こ衡を爭ふだけの實力を有したらんには、英國の窮迫は實に想ふに堪へたり。幸に敵國の大艦隊はキール運河に蟄伏し、僅に潜航艇を放つて海賊的行動を爲すに止るの有樣なるを以て、英國民は辛うじて餓鬼道の苦患を免れ得たるのみ。

獨逸は食料代金を外國に支拂ふもの、年々十二三億圓に上るこ雖も、同時に國外に輸出するものも少からず。元來が農業保護の政策を取たる國のここごて、食物の輸出は遙に英國の比にあらずして、國民需用の總額に對し、約二割だけを輸入に仰ぐに過ぎざるなり。故に大戰爭勃發の初めに當り、聯合諸國に於ける短慮者流は、獨逸の海上及び四境を封鎖し、食糧の輸入を絕たば、獨逸は期年ならずして屈服すべしこ觀測したるが、何ぞ知らん、總額約二割內外の不足は、食物の節約、貯藏品及び科學の應用に因りて、之を補充するの容易なるを以て、戰後四個年餘に亘る今日に於いても、獨逸は毫も食物の缺乏に苦しむこなく、加ふるに昨年以來既に巴爾幹の沃地、露國の廣野を手に入れ、十分の準給を整へ居れるを以て、たこひ今後幾年間嚴格なる封鎖に遇ふこも獨逸は決して食物に窮するこごなかるべし。此の形情は既に聯合諸國の確認する所こ為り。今や何人も兵糧攻めの容易なりこを看破せざるものなし。さて十九世紀末より今世紀の首に亘り、獨逸の工商業が驚くべき進歩發達を遂げたることは世界に於ける奇蹟の一こして數へらる、所なるが、其の基礎を爲せるものは、實に充溢せる國勢の實力に在りき。而も獨逸は工商業が此の如く發達したるにも拘らず、依然こして農事を尊重し、國家經濟の基礎を農業に置くの政策を維持し來れるは、是れ實に獨逸人の偉大なる所以こいはざるべからず。若し獨逸にして農業政策を放棄し、英國の商工政策に沒頭したらんには、國勢の進歩は決して現在の如くなること能はざるべく、今次の大戰爭に際會しては、能く一箇年を支ふる能はずして、既に屈服したるや知るべし。

米國に至りては國土廣大、氣候中和、肥沃の地にして鋤犂の未だ入らざるもの甚だ多きを以て、必ずしも重農主義を執らざるも、其の產出物の豐富なる他邦の企て及ぶべからざる所なり。加ふるに建國以來、產業保護の政策を以て國是こ立てたるが故に、其の發達頗る速かにして、其の產出小麥の如き、殆んご全世界に供給せらる、の盛況に在り。現に歐洲戰場に於ける聯合軍の食糧は、過半此國の物にして、聯合軍は實に米國の食料に由りて戰ひつゝありこいふも、決して過言にあらず。若夫今回の戰爭にして、豐富なる米國食料の援助なくんば、聯合軍の困頓いかばかりなりしやを知るべからず。此點より見れば米國の參戰は二重の力を聯合軍に附與するものにして、其貢獻の至大なる、實に農業國の賜なりこいふべし。

物價調節策奈何

大橋新太郎氏談

近來我が國の諸物價昂騰を示し、洛々底止する所を知らざるの狀態に在るは、之れ言ふまでもなく世界戰亂の結果經濟界に於ける自然の大勢である。然し物價の調節こいふことも、實は言ひ得べくして容易に實現さるべきものではないも强て此の大勢に鑑みて人爲的に是れが調節策を講ずれば、其れは或る程度迄は出來ぬこいふこごも無からう。殊に米價調節の如きは、外米の輸入を大に圖り、同時に其標準價格を一定して、之を政府の專賣にすることである。爾うしたならば、他の內地米の相場も此外米を標準こして自から定まつて來る譯である。即ち時價を激變せしむる一防遏策だらうこ信ずる。而して此の米專賣權の制定こいふべきもの定められ、既に政府に於て實施され居りしならんには、今日の如き騰貴の現象は、或に防遏することが出來たらうこ思ふ。然し一部の論者にありては、外米は成分香味の點からして左程日本には需要さるゝものでないこいふものもあるが、其れは或る程度の理由らしく聞こえるが、これからズツこ地方に行くこ多くの農民は、自作米よりは安価の外米を食し高價な持米を賣却するこいふ傾向は、確にある。されば此外米を以て米價調節の根本策を講ずることは、確に好結果を齎すに相違ない。其他米價を安からしめんこするには、外米の關稅を撤廢するこいふ說もある。然し之に就ては曾て問題の起つたことがあるが、遂に農民を保護するこいふ意味から、始終此問題の起る度に面倒になつてゐるに見ても容易に解決しさうにも思はれぬ。又彼の米價のみならず諸物價の公定價格を定めるこいふことも、物價調節の一方策であることは勿論であるが內外の形勢から鑑みるこ目下の日本には容易に行はるべきものではない。夫れも歐米各國に於けるが如く戰時狀態ごもなれば、此の公定價格も出來ないこごも無からう。又必要を感ずるに至るやも知れない。今日米國等にては、鐵、造船業其の他のものに對して此の制定が行はれてゐるが、其の結果は投資關係及び組織其の他の關係から收支償はざる工場が出來てくるのは當然のことである。然ういふ場合には政府が其の工場を引受けてでも當ればいざ知らず、然も無い以上は運轉を休止するの外は無い。然ういふ弊害が一面に起るから若し之を實施しなければならぬこいふやうなことに至つたならば、餘程の研究こ調査こを要する。夫れから又先投務の收縮を圖るこいふことも物價こ密接の關係を有するは勿論で、此の方途も現在日本の其の方面より見たる經濟界の狀態に照しては强ち講じ得られないこいふこごも無い。要之此の物價調節こいふことは、我が國刻下の急務であり且つ最も切なることではあるが、更に一步深く進んで戰後の財界狀態は如何。果して我が日本の財界は如何なる變動こ恐慌こを來すか、大恐慌の來ることは戰後必然の現象であるこ思ふ。而して予は今之れに就て語るを欲せざるも、世人は宜しく今より此の戰後に對するの考慮を致して各々對策を立て、置く必要がある。否是非こも對策せねばならぬ問題である（東京支局）

南北安協難

北方勢力增進

徐世昌氏が大總統に當選して段祺瑞氏が辭職するこいふ事は最も動かない事實である徐世昌氏は今度

△**大總統に押**されし事情よりして、又人心收攬の上よりしても事情の成否は別問題こして就任勿々南北妥協政策を取るこせば段祺瑞氏は體面上晏如こして總理の位置に留まる譯にはいかぬが其北方の元老たる徐世昌氏こ段祺瑞氏この間柄だから段氏の辭職に就ても何等かの默契が出來て居るかも知れない段氏の辭職こ共こ他の閣員も辭職するらしく傳へられて居ないでもないが例の支那式の八百長で結局は段氏一人の辭職に止まるであらう元來現內閣は殆ご皆徐世昌系ばかりのものであるが之は曩に王士珍氏が國務總理に就職當時閣員こなすべき程の部下を有しないので徐世昌氏の部下を

△**閣員に求め**段祺瑞氏が之を承認したからで閣員は少しも段氏に殉ずべき義理はない筈である併し段祺瑞氏が辭職したからこて段氏の勢力失墜こ見る事は出來ない今日の形勢にては假令徐世昌氏が就任勿々南北安協を實行せんこしても決して成功し得られるものではない殊に徐世昌氏の言こして南北安協に就ては實行を先にし理論は後にする事こ傳へらる、以上南方の所謂護法論は當然後廻しにされるから到底南北一致するものではない斯て妥協の成功しない場合徐世昌氏は遂に段祺瑞氏に其政權を讓るべく此態度變更の時は即ち段祺瑞氏の再び復活する時であらねばならぬ昔て眞に立脚した時すら容易に復活し得た

◇**彼の手腕を**以てすれば今度の如く徐世昌氏こ默契あるが如く見られる場合に於て其の斡旋は易々たるものであらう斯の如く妥協を策して成功せず遂に主戰論に變るこいふ狀態が幾度か繰返さるゝ間に一同は一同こ北方の勢力を增進し優位に立つ事になるものであるから今度の如きも徐世昌氏の安協に失敗して主戰方針を執つた曉甘く行けば廣東邊を攻略する事が出來るかも知れない若しさうすれば北方の勢力は頗る偉大なるものこなる尤も是は暫く先の話しである國務總理の後任は大抵徐世昌系卽ち交通系から出るのが本當だが容易に適當の人物を見出されない梁士詒氏の如きは

△**適當な一人**であるまいか南北[illegible]の選擧を延期して[illegible]を容けて置くこいふ事は南方派の一策で他に意味はあるまい徐世昌氏の選こ共に馮國璋氏は全く勢力を失ふかこいふに其程でもあるまい從來のやうに馮氏の命を受けて段祺瑞氏を窘めて居つた倪嗣冲氏の如きが居るのは中央政府に迎へらるゝ事こなる侯ので馮氏の致命傷こはなるまい湯化龍氏が刺客に殺されたさうであるが恐らく民黨員の仕業であらう湯氏の橫死は必ずしも支那の大勢に影響を與へるものではないが斯んな些細な事で南方派は益々米國あたりから毛嫌ひさる、事はあるまいか南方派の爲に惜む次第である（東京電通談）

興味あるブラゴエ戰

敵軍遂に降伏か

興味を以て期待されたハバロフスクは餘りに呆氣なく破れて敵は一戰にも及ばず逃走したのから見るこ敵に戰意なく戰局も茲に一段落こ見なければならぬが軍事上から見ても地理上から見ても敵の立場こして飽までも死守すべきハバロフスクを一戰にも及ばず捨去りてブラゴエシチエンスクに逃込んだ敵の眞意の那邊にあるかは頗る解し難きものがある況んやブラゴエシチエンスクに於て兵力を吸集し戰備を整へつゝあるこ云ふに於てをや此點より見れば尙

△**敵に戰意**ありこ見なければならぬが敵が果してブ市に立籠りて一戰に及ぶ氣であるか頗る疑問である更にブ市に於て敗れたる敵は其終如何なる行動を執るか將た何地に於て冬籠りをなさんこするか之れ頗る興味ある問題であらねばならぬハバロフスクよりブラゴエシチエンスクまで約二百里、日程こして決して近くはない、が鐵道の便があるから行くには必ずしも困難ではない然し我軍がブ市まで行く必要があるか何うか夫は疑問であるブラゴエシチエンスクはハバロフスクに次ぐ都市ではあるが要塞其他軍事的施設は何にもない夫れは兎も角これから施設をすれば出來るがハバロフスクを我軍に占められては食糧及び所謂品供への途はあるまじく敵の所謂

◇**黑龍艦隊**なるものは我軍がハバロフスク河口を封鎖すれば動きは取れず更に捕獲されたも同然である更に我聯合軍の進出狀態を見るに我大井師團は浦鹽よりハバロフスクにありチエック軍の主力は哈爾賓を經て最もブ市に近く陣し藤井枝隊こセミヨノフ枝隊は滿洲里方面よりイルクックより東進せるチエック軍はチタ方面より前進しつつありて敵は益々袋の中に追ひ詰められつつある開いてゐる袋の口こもいふべきは黑龍州方面のみである同方面へ逃げ込めば同地は更に一層不便な地なれば敵にして若し鐵道沿線を放れて黑龍州へ入らんか餓死するの外あるまい

△**斯く覩じ來**れば我軍は敢てブラゴエシチエンスクまで進出するの要なく現狀を以て越冬するも何等の支障なく寧ろ其方が便利也。然れごも聯合軍の連絡に黑龍鐵道を我に收め置けば更に好都合にて今の處にては多少迂廻せざる可らざるの狀態にもあり結氷期までには尙ほ一箇月半も餘日あれば或は[illegible]一觸敵を鐵道外に追ひまくり鐵道の主權を全然我に收むる事こなるかも知れぬ所謂黑龍戰に入るものであるが斯くなる場合敵は先づ食糧に窮して白旗を揚げて降伏し來るの外なきに至るであらう（東京電通談）

並行線（七十八）

瀧閑村

『おのぶ、おのぶ。』

死の門へ通ずる其固く閉ちた扉は容易に開かなかつた。醫師の門を叩かうにも、おのぶを手放してゆくのも心懸りであつた。漸く隣の人を頼んで、近所の醫師を迎へた。代診の若い男が來た。

『はゝア、腦溢血ですが、極めて輕度です。』

醫者は[illegible]おのぶの魂は再び此世に引戾された。枕を低くして靜に横はつた。

『モウ大丈夫ですが、成るべく靜にして置くやうに』

こ注意して醫師は歸つた。

宜太郎は大變澤山の激務を了へた如くがつかりした。事情を明かにする事も、それを語る事も、其健康を恢復した後でなければならなかつた。懸念してゐるこ云ふ事は、總てを壓して宜太郎の心を和がしめた。

おのぶの悲しさうな顏を見ては宜太郎は何うする事も出來なかつた、傍らに寢み伸べて寢たが、容易に眠られなかつた。いやに蒸苦しい夜であつた、それでもいつか眠りに落ちたこ見えて、おのぶに呼起された。

『何うした?』

『私何だか變ですから、お產婆さんを迎ひにやつて……』こおのぶは身を悶へてゐる。

宜太郎は思はず跳起きた。併し產婆の家も知らず、其の所置もごうしたらい、か判らなかつた。[illegible]へてゐるおのぶを慰むやうに見乍ら、時計を仰ぐこモウ一時半だつた。ふこ空腹を覺えたので考へて見るこ昨日の夕方の騷ぎで夕飯を認め無かつた事を知つた。

又隣家を叩いた。產婆の事に就ては隣家の內儀の方が宜太郎より能く心得てゐた。伜を產婆の許へ走らせて、內儀は直に飛んで來た。

『まだ／＼、大丈夫だよ、心配するこごは無いよ』こ力を付けてから、竈の下へ火を燃やした。

宜太郎は何こも付かぬ飯を一人で淋しく食ひ始めた。內儀は立働き乍ら、

『今頃何の御飯だね。』こ聞いたりしたが、暫くすると、宜太郎の傍へ來て聲を潜め乍ら

『風樣はまだ生れるのには少し早くは無いだかね。』

『さうですね。』

『まだ來月の筈だがね。』

襁褓なごの用意をして置いて、內儀は[illegible]の用意をした、一[illegible]程すると產婆も來た。一通り診察して

『まだ少し間がありさうだが、月が少し早いから。』こ首を傾けた。

宜太郎は玄關にまご／＼して[illegible]、心配した。產婆が[illegible]らは產婦の苦しむ聲が斷續して聞こえて來た。

『まだですか。』

產婦に與へる雞卵を取りに來た內儀に聞いて見た。

『夜が明けてからだこ云ふから、他の所へでも行つてモウ一寢入するだね。』

宜太郎は只居たり起つたりしてゐた。心は產婦の唸る聲に引摺られてゐた。

漸く夜が明けたが、まだ產れる氣色は無かつた。それでも朝はいくらか宜太郎の心配を輕くした。庭に出たり、家へ入つたりしてゐた、新聞を披らいて見たが一向頭に入らなかつた。

八時、九時、十時――

宜太郎は產婦も產兒も心配になつて來た。正午近くになつて唸り聲が靜まつたこ思ふこ、內儀は勝手へ來て湯の仕度をした。

『生れましたよ。』こ謡やかに宜太郎に告げた。

『女ですか、跡は?』

『男だよ。』こ云ひ棄て、盥を抱いて去つた。

宜太郎は緣側にベタリこ坐つてホッこ息を吐いた。

動力 三尺巾 繰綿機 新製品 六臺 附屬品一切
手繰 繰綿機 造綿機 武臺 壹臺
右至急讓渡し申候間御入用の方は下名へ御申越被下度候
全南木浦 山本萬次郎

最新刊

書名	著者名	定價
朝鮮農業寶鑑	[illegible]	二、五〇
現代新學百科說林特價		一、三〇
トルストイ日記	石田譯	一、二〇
文檢受驗用 理科的實驗の研究	[illegible]	一、二〇
理化定理の疑問	[illegible]	一、〇〇
通俗傳染病論	[illegible]	一、〇〇
獨乙を中心に	赤木格堂	一、三〇
西亞に遊びて	大谷村公	一、〇〇
朝鮮法規提要		定價武圓
劍道の極意	堀田捨山	一、五〇
家庭日常手藝術	中村八郎	八五
賣られ行く女	上村行彰	一、四〇
光は東方より	北令吉	一、〇〇
日々の禮儀作法	小笠原式	四五
家庭の法	[illegible]	六〇
婦人の美談ごこそ	[illegible]	一、五〇
京城日報編 ◇最新書式大全（朝鮮）		定價三圓

京城本町 大阪屋號 (電話二五七番)

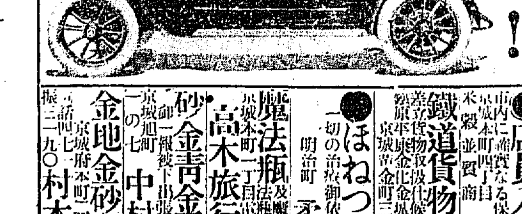
サツポロビール第一回懸賞廣告圖案募集
左の方法に依りサツポロビール第一回懸賞廣告圖案を募集す
一、圖案中に「サツポロビール」の文字及び商標を入れ[illegible]
一、[illegible]
一、應募者は鮮滿在住者に限る
一、締切 大正七年九月二十日[illegible]
一、發表 大正七年十一月[illegible]京城日報・京城新聞・朝鮮新聞・大阪朝日・大阪每日[illegible]
一、賞金 一等 金貳拾五圓 サツポロビール一打
二等[illegible] 金拾圓 サツポロビール[illegible]
[illegible] 金五圓 サツポロビール[illegible]
以上
大日本麥酒株式會社 サツポロビール製造元
京城出張所 京城旭町一丁目 (電話二四六番)

來ル十月六日日本府及各道（京畿道ヲ除ク）ニ於テ見習試驗ヲ施行ス志願者ハ九月九日十日十一日迄朝鮮總督府官報告見習採用試驗[illegible]ニ出願スベシ
志願者心得ヲ參照シ九月二十五日迄ニ試驗ヲ受ケムトス官廳ニ出願スベシ
大正七年九月
朝鮮總督府 見習試驗委員長 荻田悅造

トモダチ
十月號 美しい繪 面白い話 滿載 ◇新案手工附錄付◇
一冊十五錢五厘 六冊八十六錢 郵共
文學士 寺田精一先生監修
東京九段 二葉社 振替東京三三六三番

成金たらんか
敗者たらんか
其の分岐点は株式賣買の巧拙にあり
弊店調査部は最も有利にして確實なる株式を無料にて御通報可致候
東京市日本橋區坂本町十八番地
公債株式現物問屋
合資會社 春中株式店
電話浪花九三九番 電信略號(タ一)

京城春川間 乘合新式自動車!!!
當商會大正四年十月開業以來益々發展に趣き候段は偏に各位御眷顧の賜と奉深謝候
今般御乘客の眷顧に酬ゆる爲め更に快速にして乘心持よきスプリングシーツ付トーリング最新式自動車數臺を購入し九月十四日より迅速確實を旨とし運轉仕候間一層御愛顧の程願上候
大正七年九月十四日
京城發前八時 春川着十二時
春川發前八時 京城着十二時
京城水標町 春川
京春自動車商會 松田詩男 電話二三八番



外務員採用
每朝九時迄に履歷書持參の事
京城本町四丁目 徵兵保險會社

京日案內

インクリッシバイブルクラス
每土曜後八時、西小門內スミス[illegible]

◇店員入用 希望者は[illegible]
新町[illegible] 菓子商 石見堂

◎乳母又は保姆至急入用
給料御希望の通り
[illegible]井上病院

土地賣物
京城府[illegible]南大門通五ノ八[illegible]

◇店員入用 十五六歲まで
市內に確實なる保證人を要す
京城本町四丁目 米穀雜貨商 佐野屋

鐵道貨物 運搬不能に付各地行[illegible]
京城黃金町[illegible]

ほねつぎ うちみくじき
一切の治療御依賴に應ず
明治町 柔術道場

魔法瓶及魔法中瓶 來着
京城本町一丁目 高木旅行用具店

砂金青金高價買入
京城旭町一ノ七 中村分析所

金地金砂金高價買入
京城府本町二丁目 村木時計鋪

◀軍人印ボツクス革▶
◇原料豐富なる朝鮮に生れ◇

◇たるボックス革の霸王◇
製造所 鎮南浦岡工場
一手販賣所 北村皮革直輸入店
京城南大門通一丁目 電話長一八四六

★ 御家庭用
サツポロビール小瓶 新荷到着
市內各販賣店にあり

烏蘇里方面戰報

△一二師團司令部ハ市著

陸軍省公報＝十二師團司令部は十日ハバロフスクに入りたり（東京特電）

△我軍敵砲艦捕獲

十二日陸軍省公表＝十二師團は八日ハバロフスクに於てブラゴエチエンスク方面より下降し來れる敵砲艦一隻を捕獲せり（東京特電）

△ブ市秩序紊亂

日本領事代理書記生安否不明

東京特電＝ブラゴエチエンスクの秩序紊亂し虐殺行はれ對岸面にありし日本領事代理書記生の安否不明なり（東京特電）

滿洲里方面戰報

△チタ物資缺乏

我軍に對し住民の誠意ある歡迎

哈爾賓公報＝チタは從來獨墺俘虜及過激派の巣窟なりし爲めに住民は其の苦を嘗むる久しかりしが我軍の來着は彼等に對し生命財産の安固を得たりとし其の誠意ある歡迎は掬すべきものあり同地は食糧日用品等物資の缺乏甚しきものありしより日本軍は是が救恤の目的にて十日夕刻多數の麥粉、米、木綿、砂糖、米、燐寸、靴等を哈爾賓より該地に向け輸送せり（東京特電）

◇露獨新條約目的

哈爾賓公報＝露獨新條約に就て「スロー」紙の報道に據れば露獨兩國は新條約に調印せるが右條約の目的は過激派を強制して北露に於ける聯合軍と闘はしむるにあり（哈爾賓電報）

◇北露新政府樹立

巴里「マタン」紙の報道に據れば北露チャイカゴウスキー政府顚覆され新政府樹立せるが新政府が聯合軍に好意を有すと（巴里電）

◇反革命運動熾烈

莫斯科來電＝反革命運動は過激派が辛辣なる手段を執るに拘らず蔓延しつゝあり露國の大都市に於て此陰謀の發見されざる無く陰謀に關聯して多數の人々逮捕されつゝあり此反革命運動は明かに一箇處の策源地より出づるものなりと觀測せらる（アムステルダム電報）

◇諸將軍浦鹽行

哈爾賓來電＝チエック軍指揮官ヂトリックス將軍及びイリン博士は浦鹽に向ひたりガイダ大佐並にホルワット將軍も亦浦鹽に向ふべく彼等は何れも聯合軍委員會議に出席すべし（東京特電）

◇北軍同安奪還

福建方面南軍陳炯明軍は去る五日同安を占領せしが福建督軍李厚基の率ゆる北軍は七日之を奪還せる爲め一時不穩なりし福州は稍沈靜に歸せり（北京特電）

◇佛軍リエ砲臺占領

佛軍はリエ砲臺を占領せり（倫敦電報）

◇獨政黨と內閣

獨逸帝國議會の左黨に屬する各政黨は議會に基礎を有する內閣の組織を要求しつゝあり（倫敦電報）

◇米抑留獨船管理

南米秘露の港に抑留せる獨逸船の管理を米國政府に移さんとする秘露對米國間に調印されたり（リマ特電）

◇支那電報開通

支那電報はイルクツク迄開通したり（哈爾賓電報）

◇長尾局長渡支

長尾中華鐵道管理局長は今回支那出張を命ぜられたるが右は第三師

◇冷靜に寺內內閣施設を觀察せよ

最近新聞紙上政變說漸く白熱に近し政界は蜚語紛々たる狀態なるが冷靜に寺內內閣施設の跡を見仔細に其身邊を觀察せば自ら此說の虛構を諒解するに至るべし說を爲す者の多くは

▽過般の暴動

其他に關し寺內伯が此責を引き辭職するは政治的良心ある者の當に執る可き途なりとし揣摩臆測を逞しうし政變說を流布するものあれども外交政治の實際は決して斯かる論者の皮相的觀察の如きものに非らざる事一般有識者の齊しく認識する處即ち

一、外交問題に就ては近來聯合各國を初め締盟各國との關係殆んど一點の暗翳を認めざる狀態にて就中日支關係は寺內內閣成立以來

▽對支政策を

一新して前內閣の誤れる日支軍事協約の締結、西伯利共同出兵等に當り序を逐うて進行しつゝあり又西伯利方面に於ける我軍の戮力は近來愈々聯合國の感謝する處となり延いて我外交關係にも極めて良好なる影響を齎しつゝあり

二、內政問題に就て風說ありしが政變の論據と爲すは來年度豫算の編成難にあれど豫算問題も事實は決して風說の如きものに非ず既に各省豫算概算は藏相の手許に提出され唯だ陸軍省のみ未提出なれど是れも四五日中には提出さる可く各省は揃はゞ直ちに

▽編成に著手

し豫算閣議の日取も成り居れり一般經濟界の好況は自然增收の外に多く一方に臨時軍事費等の支出あるも歲計編成に困難を生ずるが如き事は絕對に無く故に豫算編成難よりして辭職を爲す可き些の理由無し

三、暴動問題に就ては世間既に論議し盡されたるが如くなるも米價の暴騰は單に動機を爲せるに過ずして眞因の發する處別に在り之が暴動の狀態より見ても富家の攻擊に對する貧民階級の反感と云ふを得べく而も斯かる惡性の暴動も意外に速かに鎭靜し今や天候の順良と米價施設と相俟つて米價は漸次平順に復せんとし人心亦漸く安定せるが如し

四、其他西伯利派遣軍は連戰連勝の勢ひにて歐洲戰局上の戰果を收め此の吉報は聯合軍の西部戰場に於ける勝利と共に聯合國民に賴もしく

▽我國の地位

を確保しつゝあり斯く各方面より政情の實際を觀察せば寺內內閣が辭職せざる可からざる何等の理由なきに拘らず政變說の流布せらるゝは政府反對黨の者は暴動事件を痼疾的政府攻擊の動機として再び政界攪亂の策を企圖し寺內伯の引責を高唱し盛んに暗中飛躍を開始するに至れりと見るべく只我利的政權慾よりして目的の爲に手段を擇ばざる如き危險を帶び居るを以て寺內伯亦四邊の政情と之等危險分子の術策とに鑑みなく其術中に陷り故に辭職を決行するが如き事なきは勿論なり而して伯の健康如何は醫者の最も憂慮する所にて第四十議會開會中も一方ならぬ人の重擔なるあり他方自己の健康亦勝れざりしも政界の多事と時局の艱難とは伯をして押して難局に當るの止むなから

▽切に休養を

しめ僅に政務の閑を見て大磯に靜養する位にて今日に至りたるが醫師は勸めて止まざる狀態に在れば今後如何に伯が此の難局に處し一身を犧牲にするの決意あるも同時に時局の多難は首相の重任を一日も空うする事を許さゞる事情あるを以て今後伯の健康にして切實に休養を要するに至らば伯は平素の謹嚴忠實苟もせざる性格より見て伯は却つて休養の如き姑息手段を採らず或は斷乎辭表を提出するやも知るべからず要するに政變の有無即ち總辭職如何は現在の政情より見れば絕無と斷言するに憚からざれど萬一有りとすれば一に伯の健康如何に繫るものと觀測するを妥當とす可し（東京電）

◇辭令

遞送監督の爲なりと又木下遞信局長は十五日頃歸國の著任（東京）

十一日左の通り辭令ありたり（東京特電）

朝鮮總督府技師　國枝博　依願免本官

◎京城財界膨脹

貸出預金三割增

朝鮮銀行券の發行高は最近七千八百萬圓臺を示し之れを前年に比し約三千萬圓の增加にてコハ全く戰時財界の活況に因り流通界の大なる膨脹と物價騰貴に基く貸出の增加に基くと見るを至當とすべく京城に於ける各銀行の膨脹に此の經濟界の膨脹の影響が如何に現はれ居るかを見るに昨今年の八月三十一日に於ける貸出預金の數字を示せば左の如し

▲預金

	（大正六年八月末）	（大正七年八月末）
定期	八、四〇〇、五一〇	八、九四二、七九三
當座	五、八八八、五六五	八、〇〇三、〇一一
特別當座	三、九七九、三三八	五、六八七、八〇〇
諸預金	八二五七、一一三	二一、四四八、三三九
合計	二六、四〇〇、五七七	四四、〇八〇、九一三

▲貸出

	（大正六年八月末）	（大正七年八月末）
貸付	一八、〇五六、四四	二〇、七七一、八五四
當座貸越	二、七六〇、五一〇	三、二九一、一七八
割引手形	一五、一八四、五一一	二二、九一八、二三八
荷爲替手形	六〇〇、〇一〇	四〇四、七五〇
合計	三六、九一七、七五	四六、七三三、九二〇

乃ち昨年は預金の二千六百萬圓に對し貸出三千六百萬圓を示したるが本年は預金に於て一千八百萬圓を增加し貸出に於て約一千萬圓の增を告げ居り計數より見れば京城に於ける金融の緩和著るしく增加中の一千萬圓は鮮銀東京支店の勘定に振替へたるものにて實際の預金增加は八百萬圓にして前年同期の約三割增と見るを至當とすべく貸出しの三割增と略ぼ均しき增率を現はし居れりと見るべく本年の城の財界は非年に比し幾程の點に於て大丈けの膨脹を來せりと稱し得べし

◎雲山發電所

九龍江の設備

平安北道雲山郡北鎭なる東洋金鑛會社は大倉發電所との電力送電の約期限に就ては種々困難に至り解約を見るに際し紛擾を生じ居たるも右は結局當所は八月初旬本年十月末日を以て電力の送致を中止すること決定したるを以て金鑛會社に於ては八十萬圓の豫算を以て昌內に九龍江の水力を利用する發電所を建設することゝなり諸般の建造物は本年七月頃より據築されたる兵山面地より架設して來る本年決水期迄に竣成せしむべく目下工事中なるが總ての設備を了り送電の後すに至るは明年八九月頃なるべく尚十一月以降に於ける金鑛會社所要の電力は北鎮に設備せる同社の發電所より供給する事とて事業には大なる支障なき由なり

◎正米市場成立

十四日より開市

京城穀物商組合は愈々市內南米倉町南大門市場內に事務所を設置し京城府內並に其の附近に於ける米穀、豆類、雜穀、及び肥料の賣買を營む者を以て其の組織を見るに至りたるが同時に其の從來の同業者の如きは殆んど顧みられずして爲め其の取引の弊害を矯正し同時に其の組合員相互の利益を增進すると共に京城府內並に其の附近に散在する穀物及び肥料の品位改良を計り其れに必要の施設を爲し事商習慣の統一と商取引の緊活圓滑を圖り附屬仲立人を置き組合員の現物賣買を斡旋せしめ商取引上の調査統計の編纂報道を爲す事等を目的とし十日午後三時より創立委員會を開催し愈々來る十四日より開市の事に決定せり之れと同時に同組合にては事議の上より新に組織されたる組合に於ては出た問屋の整理は組合の當局として此新規約を承認せしむることとし今後同組合の業務は京城穀物商の成立を見たるを以て組合員は仲立人二十二名、鮮人二十三名計五十三名よりなり仲立人は內地人二十二名鮮人二十名を選定し總て登錄を行ひ組合員相互の直接賣買を爲すことゝせるが開市期日の十四日は其取引時間を午前十時より十二時迄となす由

◎米出廻狀況

京城新米出廻り及び米類の關係を見るに昨今の米出廻りの狀況は本月六日頃より京城附近諸邑の稻刈取り早稻種の新米が出廻り始め一斗八錢乃至八錢一厘の相場にて出廻りたるも十日頃より米價の下落と共に漸次增加し十日に於ける京城附近の出廻高は約二千石を示し約十日前より一日約四五千石

◎朝郵接續費値上

朝鮮郵船會社にては本月十日より元山清津間の延賃率中陸上百斤に付き十九錢五分に引上げたるが爲め時局の影響による貨物の增大及其の他の營業費の增額を行ひしものなり

◎鑛業家協議會

鮮鑛業家は時局の影響を受け近來經營困難の兆あるより京城在住鑛業家有志牧山小瀧原田諸氏發起となり十三日午後二時より南山町二丁目朝鮮鑛業協會に於て其救濟策並に一般鑛業の發展に就き協議する由

◎滿鐵各府納稅額

大正八年度朝鮮滿鐵會社營業收益に對する所得稅並に付き各府所在の營業所に對する課稅額

地名	申告額	現額
京城	一二八、三三九	七六九、四三四
大邱	二一、六五八	一二九、九四八
釜山	五一、九〇六	三一七、四三〇
仁川	三五、七五七	二一四、五四一
馬山	九、一四一	五九、〇四二
平壤	三七、三六一	二二四、一六六
新義州	三二、三一六	一九三、八九六
鎭南浦	三〇、八六六	一八五、一九六
元山	二五、一一五	一五〇、六九〇
木浦	九、四六六	五六、七九六
群山	二三、五〇〇	七六、五五〇
清津	二、九五五	一七、七三〇
累計	三八九、七〇一	二、三三八、二〇〇

聞くに左の如し

して納む可き稅額並に各府所在營業所の收入に比例する其割當額は

◎京城府決算

京城府に於ける大正六年度歲入出決算は左の如くなるが殘金一萬九千二百十四圓九十五錢は悉く七年度に繰越せり

▲歲入之部

三十萬五千三百三十七圓二十七錢

▲歲出之部

二十八萬六千百二十二圓三十二錢

十六圓五十錢の相場にて取引されつゝあるが內大小麥は見越買の爲め府內の現在高四萬餘俵（五斗入）に達せりと

◎京城局爲替受拂

京城郵便局に於ける八月中の爲替貯金受拂狀況を聞くに受入にては內國爲替十四萬千七百八十四圓、外國爲替七百三十八圓、郵便貯金三萬六千四百四十五圓、振替貯金百七十九萬三千六百九圓、總計二百四萬二千二百二十二圓にして昨年同期の七十七萬四千百二十四圓に比すれば百二十七萬九千五百四十五圓を增加し拂渡に於ては內國爲替二十六萬七千六百四十二圓、外國爲替二千九百七十五圓、郵便貯金三萬二千四百七十五圓、振替貯金百三十萬七千八百八圓、總計二百七十一萬二千百四十九圓にして之を昨年同期の百九十萬二千八百十九圓に比すれば八十萬九千三百三十圓の增加にて昨年同期の外國爲替に於ては（?）二百七十八圓本年八月分

七百五十三萬二千五百八十七圓にして百萬圓を增加せり

◎鮮銀增築著手

朝鮮銀行にては增築の準備に於て設計成りて目下敷地の地均しに著手中なるが年內に起工するも竣工は明年の豫定

◎宮川部長事務解任

平安北道宮川部長事務官鑑行氏は八月二十四日附依願解任となりたり

人事消息

▲加藤總務課長　金剛山探勝の爲め十二日出發十六日▲佐々木慶同道長官　十二日夜退京▲首藤雄南氏（大倉組京城）同上▲三田三圓三氏（大倉組京城）同上▲國本幸太郎氏（京城中學校長）十二日夜入京京城ホテルへ▲朝鮮新聞主催東京實業家視察團一行青木林吉氏▲中南東太郎氏▲吉永良助氏（以上三名東京市會議員）▲荒賀太郎氏（京城商會頭）▲中井福吉氏（弘業社支配人）▲原武氏（北海道）▲鈴木榮由氏、米內山鐵男氏（東京實業家）▲渡邊順治氏（淺田商店支店長）▲石原新郎氏（朝鮮新聞東京支社支配人）以上九名十二日夜入京京城ホテルへ

◎藥學大會開期

藥學大會は十四日開催の筈なり

烏瞰雜俎

近年の戰術は奈翁の戰術が基幹になつて居ると某軍人が語つて居たが▲武器が非常に發達した今日でも矢張り昔の武器を土臺として改良に改良を加へられたのが多い▲殊に歐米各國民の運つて居る乳形の軍帽なども昔の戰場に盛んに用ひたものだ▲彼の爆彈なども今こそ猛烈な諸種のものが出來て居るが彼れも千七百九十九年シェヴアリエーと云ふ佛國砲兵工廠の一職工が▲奈翁を暗殺せんとする目的で造つたのが世界に於ける爆裂彈の最初のものである▲が未だに奈翁當時のものを其の儘工夫もせず同形で現今に傳へて居るのは佛國の軍帽である▲彼れは奈翁がアルプス越を記念せん爲の佛軍の誇とする帽形である▲日本陸軍の總帽も彼の形を取つたものだ▲米國兵が本國出發の際は何う云ふものか逃亡者が非常に多いので當局も大分注目して居る▲先月も千八百名を乘せて行く運送船が新青發船間際に三百五十名の逃亡者を發見した▲陸軍で能く能く詮索研究して見ると彼等は決して命が惜くて逃るのではない▲軍隊の九分九厘が田舍者で米國第一の都會を未だ見た事がない▲其處で出發前に去る廿四時間の休暇を利用し浮らし氣に市內見物に出掛る▲田舍者連中の事だから見るもの聞くものの一として珍ならざるなく目をかさざるものは無い▲ツイ繁華に魅せられて浮かくと見物し廻つて大事の出帆時間に遲れる▲サア大變首するこ軍法が嚴重なので恐ろしく最う仕方がないので惡い事とは知りつつ逃亡を極め込むだ▲相變らず米兵の無邪氣の處を發揮してる

商業登記公告

一、商業登記、妻ノ氏名及其所京畿道振威郡内南面平澤里百七拾五番地米穀業及米穀商ニ營業ノ京畿道振威郡南面平澤里百七拾五番地京城地方法院平澤出張所　右大正七年九月拾日登記

東京本所長崎町三日本發明奬勵會　寶暦用大團扇は事業ことして最も有利二十種の製法を說明せる解說書に自由製造機械の製造販賣所に於ける賣藥菓子薬品等の器械下向ラバンプ製麥等販賣　見本定價表進呈

鯨皮羽毛鯨肉類　大販賣　季節刺身代用品に最も適當　東洋捕鯨株式會社特約店　鯨問屋　香月商店　（京城明治町二丁目）（振替口座四八四六番）

九月十三日より　大正館　山本嘉一一派衣笠貞之助合同一派新派劇七色指輪　全四卷　連續大活劇第六篇秘密の王國　四卷上場　十一二篇　新劇　七色指輪　衣笠貞之助の出演撮影に依る物にして曾て東京オペラ館に上場するや多大の好評を博せる悲活劇　舊劇忠僕金助　三卷

かぜねつに一番よくきく　キナピリン

効　●感冒●熱病●頭痛●インフルエンザ●リウマチス●間歇熱（マラリヤ）等に大効あり

價　十錢、廿錢、卅錢、五十錢、壹圓

大阪市堂島元町　本舖　高橋盛大堂藥局

柏村博士のヘルプは

學理上から見ても實驗して見ても寸毫批難の余地がない現代唯一の理想的腸胃藥で今や普く識階級から盛んに賞用されてゐる。

夏の不養生は

秋に入つて一層恐しい結果を齎す故、此際腸胃に故障ある人は直ちに

ヘルプの服用を斷行し

專ら腸胃の健全を計り殊に惡疫流行の恐ある今後も肝要

ヘルプの作用　●食過●食傷●寢冷●水あたり●暑熱●冷腹●消化不良等より起る▲下痢腹痛▲吐瀉▲滿腹▲腹冩痢止▲腸加答兒▲胃加答兒を治す

東京日本橋　本舖　津村敬天堂　●全國各藥店にあり

消化と殺菌の下痢止腸胃藥

HELP　下痢止め　ヘルプ　本舖　津村敬天堂

熟慮斷行

藥劑一つ買求するにも大に熟慮せねばならぬ。

製方者は責任あるか●製造元は信用充分か●效驗は顯著であるか●危險な副作用はなきか●價格は如何等の問題を深く研究した上、それが自分の意に叶つたものであれば、直に決斷して購求すべきである。

衛生上より解釋すると

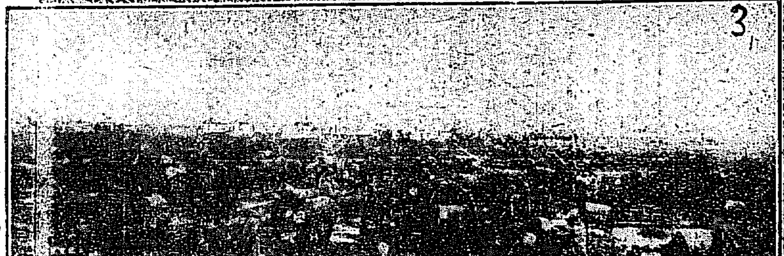
熟慮斷行

の四文字は、實に萬民の齊しく處世上の座右銘として拳々服膺すべきである。今これを

六年祭

早くも今日は

歲月は流水の如く乃木大將が逝いてから、早くも今日は六年ことなつて更に新なる追慕の涙を禁じ得ないが護國の神と仰ぎ奉る將軍には世に教訓された金科玉條の中にも



（一）シヤコブカ驛に於ける稲垣少將（米軍と協議中なる中央が少將）（二）某地點に於ける兵士の荷役 大きな荷物が瞬く間にサツサと列車に積み込まれて仕舞ふ（三）野砲兵の軍馬休養

[illegible]五十余名列車にて出發せるが[illegible]に向ひ我々は一箇月間豊富の[illegible]事態調査の爲渡來せるが北海道[illegible]同樣に米國のライス稻を北京の[illegible]せる外[illegible]試驗所もあり各省に[illegible]

○海運依然不況

石炭、木材、肥料等の出廻り漸々に配を示せるが傭船は米國政府の[illegible]五錢の前週より脱して七錢高の氣[illegible]四一〇噸）同傭六箇月間三十二圓[illegible]五十錢と前々週と同調にて取引行[illegible]（十一日發）

仁川小米 [illegible]

○軍人志願者の爲に
手續が簡略になった 試驗後盛に採用する

輝たる令聞勳章千古に傳はる名譽の戰死！日清戰爭から日露戰爭の前後に掛て吾等の青年の心を刺戟したものはなかつた從つて陸軍士官候補生志願者が年々増加して身を▽軍籍に 置かざれば人にあらずの感があつた、それが歐洲大戰が始まつて以來實業界の隆盛を來した爲め實業學校に入る者が多く軍人志願者は漸く減少する傾向を示して來た、理由は俸給の多寡にも因るが一つは志願手續の複雜さ十二月に志願書を提出してから受驗成績の發表迄諸般何と待つて居る期間が▽十月間 もあるのが非常に障碍になつて居るのである又幼年校も採用されて六箇月は苦勞であるので志願者に取つては苦痛である、そこで當局者も大いに鑑みる處あり志願者の増加を圖る目的で七月の官報に發表された如く志願手續を簡略にし試驗施行後直ちに採用することになつた同時に身元は精密の調査を遂ぐることである

□皇后陛下
女子學習院へ初行啓

皇后陛下には十月十三日女子學習院創立記念日に付同日午前九時三十分御出門青山北町の同院に行啓あらせられ記念式に臨御後新築落成せし各教室並に幼稚園等御巡覽遊ばさる由承はる

○獨逸に居る我が俘虜
切りに米食を渇望して居る

目下獨逸のワンベツクアランデンルブルグ及びギユストローの三俘虜收容所に分割收容せられつゝある同胞補助百四名の消息に關しては我國俘虜情報局と獨逸赤十字の五敵國俘虜情報局との中繼國たる▽瑞西政府 の手を經て幸に其一般を知るに過ぎざるが幸ひに敵國中獨逸俘虜收容所は設備整頓して而も其待遇の如きは戰闘員には勞役を課するも非戰闘員（我常陸丸の乘客大藏小長井兩氏）に對して何等勞役を强制せず意外の寬容的方針を執りつゝあるもの如く恐らく自國俘虜に對する報復を恐るゝ結果ならんも非文明なる獨逸としては兎も角▽珍現象で ある而して我陸軍俘虜情報局に於ては非戰闘員にして不幸俘虜の運命に接せし同胞の境遇には多大の同情を注ぎつゝあるも瑞西公使の如き一々西班牙政府の手を經て郵送に困る何等の手段無きのみならず獨逸に於て果して完全に遞送すべきや是亦頗る疑問なので當局者は苦心を重ねつゝあるが同局にては最近婦人團體間婦人會の託送に係る緑茶、ヅボン下、手巾等の消耗品を託送して▽其結果を 待つて居る、而して俘虜同胞は米及食料油脂を渇望して居る樣子なので情報局は其の旨を各家族に傳へたるに白米の託送依頼があるので此に就て當局は[illegible]赤近く郵送さるべきも各人宛一箇月を限度とするを以て恐らく一箇月の米量は二合内外宛に過ぎぬであらうと尚は郵船會社では金品託送附に就て協議の結果一應各自の方に就て▽希望を問 ひ合す事に決し裝に其の手續に及び目下其の回答を待つて居るが遲くも本月中にはこれが回答に接すべくこの時に託送物品を整へ之を俘虜情報局の託送申請の手續に及ぶであらう

○怪しい晃榮丸の行方
沈沒を免れ假泊中不明となる

客月二十四日大阪照田某所有汽船第二晃榮丸が濟州島附近にて遭難し船員全部無事なりしは當時既報の如くなるが其後聞く處に依れば同船は沈沒したるにあらず一旦は沈沒せんとしたるも其の後沈沒を免れて激浪に翻弄されつゝ漂流し濟州島毛瑟浦西方十二浬の海上にて發見し木浦署警備船第二扇海は九月一日救護に向ひ同日午後十時二十分濟州島山地邑内に入港し濟州島警察署[illegible]部長及び[illegible]上▲無人の儘 碇泊し居る[illegible]中の船長國府喜太郎及機關士渡邊某を便乘せしめ二日木浦出帆毛瑟浦沖合十五浬より二十二浬を搜索航行中▲天候一變 して風浪高く驟雨ありて危險の狀態に陷れるより一先づ中止し濟州島翰林里より飛揚島に避難の爲め航中大阪商船及び東京海上保險會社より派遣せる大浦丸も避難來航し共に飛揚島錨地に假泊せるが大浦丸の報知に據れば濟州島、方長崎縣瀨江口方よりギボート島燈臺に至る海上を經て▲毛瑟浦沖 合十二浬の海上を搜索せしも更に船影を認めず一向得る所なく晃榮丸の行方は愈々不明なりと

○日米無線電信 送受局
福島縣に新設

日米無線電信局設置に伴ふ送信局は福島縣相馬郡に又受信局は同縣雙葉郡富岡町字深屋に設置するに決し兩三日中に決裁を仰ぎたる上工事に着手し明年度を以て完成通信を開始する筈也（特電）

○雷大尉
ハ市占領の殊勳者

ハバロフスク占領の殊勳者は騎兵聯隊の川名大尉（十二日朝刊陣野大尉とありしは誤り）なり[illegible]同聯隊長は日露戰爭の當時有名な[illegible]參加し屢々敵の[illegible]

○五名慘死す

宮崎縣三菱經營槇峯鑛山の石垣崩壞し五名即死せり（宮崎電報）

○收賄一萬圓

長洋汽船會社京城港支店貨物係宮崎元彥は船腹融通により一萬圓の賄賂を受けし事露見せり（長崎電報）

○持病を苦にして
玄海の藻屑に 博愛丸投身客後報

十日朝釜山入港の博愛丸より投身者ありたることは既報の如くなるが第一棧橋派出所詰大井巡査は右届出に接するや直ちに同船に出張取調べたる處遺書及び釜山警察署宛の遺書並金十二圓衣類時計その他十數點の遺留品あり釜山署宛の遺書には 私儀昨年以來[illegible]候へ共一昨年より[illegible]の病に罹され（中略）より養生の點に付種々と注意され候へ共（中略）最早二十九歲と云ふ此年に保命致す事無理さ覺悟を極め此れより樣々と死亡の手段を相考へ[illegible]投身と云ふ事に[illegible]（中略）御署長樣には申譯次第無御座候へ共何卒御許し可被下候 二伸[illegible]年御手數乍恐[illegible]投函可被下候（原文の儘） とあり居人は熊本縣飽託郡[illegible]町字山部飯野鶴松と云ひ當時大阪福島三軒屋下町に居住し居たる病を苦にして自殺を決し死場所を玄海灘と定めたる者らしく前[illegible]して[illegible]居る

歡送で賑ふ龍山驛頭……龍山驛構内の洗面所（上）李王職の音樂隊（下）騎兵○○

○士氣を鼓舞する 樂の音、萬歲の聲
軍國氣分の溢れた龍山驛頭

恰も活動寫眞のフヰルムの如くに間斷なく通過する我第三師團の將兵は龍山驛頭に至る迄萬歲に送られ[illegible]の歡待に努めつゝある、中にも○○は前後八回に渉つて將校○○名下士以下○○○○名の多きに達し何れも[illegible]▽意氣冲天 の概を以て北伐の途に上つたが此等將卒を迎送する我京龍市民は愈々熱誠の[illegible]加はり、輸送列車の到着毎に燕[illegible]の愛兒を見るが如く、慈心の足ら[illegible]ざるを[illegible]如く、到れる盡せ[illegible]しきは愛國婦人[illegible]▽秋の草花 を束ねて將校は勿論兵卒にまで送りつゝある には流石に[illegible]の勇士達も「此花は[illegible]」と[illegible]中に保存し永く[illegible]

○ウルツプ島 爆發

千島なるウルツプ島は噴火爆發せり（東京電報）

○軍用列車で殺傷

十一日夜軍用列車が神戸宮原通過の際[illegible]

○米騒ぎで問題の 特殊部落
餘程改善された 内務省の調査

今次の米騒動と結合して特殊部落に[illegible]特別なる關係あるもの如くに吹聽さるゝを憂慮し内務省地方局では予て調査中であつたがこれに就て當局は語る米騷動と特殊部落の民とを結び付けて下手人の罪を多く彼等に歸せんとする傾向のあるは誠に憂慮すべきである部落民は右に關しては▽極力調査 中であるが決して一部の人々の云々する如くに特殊部落民なるが故に特に米の一揆を起したるにはあらず同部落には細民もあるの故に[illegible]が[illegible]の一部に加つたのは普通寄[illegible]部にある良民が不穩な行動をした[illegible]のは決して[illegible]前四時過ぎ船員が食堂[illegible]の爲繁忙を極め居れる際投身したるものならんと釜山警察署にては目下原籍地へ照會中なり

それを殊更に特種部落を云々するは面白くない事である個々今回騷動の一部に參加はしたが一般からして云へば特殊部落の同胞も今は著しく進步改善をして決して▽昔日の彼 はないのである新しき教育も受け智識もあり仰もあれ汎ゆる技術上に於ても大いに注目すべきものがある今全國統計の調査に觀るならば特殊部落の數は五千四百七十（五十戶以上のもの）戶數十三萬七千六百三十五、人口七十九萬九千四百三十四人、神戶、京都、大阪、福岡、廣島、愛媛等に最も多く沖繩縣及び北海道には無い而して此の何れの地方に於いても特種部落の民に對しては一種の特別なる▽觀念が有 したもので あるが近年は漸次薄らぎ兒童の如きも小學校に於て教師は努めて此等の隔を撤して居るから漸次此の部落の人々も一般的に融和して來て居るのである殊に近頃は各部落にも青年會とか處女會とかいふのが頻に起つて率先同部落の向上發展に努めて居るのは誠に喜ばしい[illegible]

▽感謝して 居た

李王[illegible]職の洋樂隊も送迎して居るが送迎列車の停着の際、兵卒の喫食中又は出發の刹那など勇壯な樂を奏するため、連日の不眠不休に五聯絡の甚く疲れた將卒も、遂に士氣を鼓舞されて勇んに勇んで▽征途に就 くのであつた、朝鮮人紳士や綺羅びやかな李王家女官、國旗を打振つて萬歲を唱ふる普通學校の男女生徒なんどにも感激の[illegible]より、鬼神も哭かせるやうな泣い顏にも、感慨無量の表情が浮かんでゐた、斯樣に龍山驛に於る歡迎送は植民地にある居住民が如何に軍隊に▽深く信賴 しつつあるかを表徵するに充分であるため、出征將卒は口々に此の後援に對しては「[illegible]」と言つて居るに[illegible]と言つてゐた 志を忘れません」と

○十一日の施米

[illegible]

○機關手の慘死

草梁驛機關庫在勤、機關手杉本三太郎（三）は九日夜満浦驛に於て列車の連結をなさんとしたる刹那列車と列車との間に挾まれ右腰部を押潰され入部病院に入院せしも遂に十日夜間死亡したりと

[illegible]蹴飛ばされし一少女は死し又名負傷したる中三名は危篤也（神戸電報）

○老童庭球會

十五日（日曜日）午前九時より明治町三井物産社コートに於いて第二回老童庭球會催さるゝが參加者の年齢は三十五歲以上にして會費は金一圓當日持參のことなりと

○乃木將軍七回忌

[illegible]

◇救濟會寄附

金五十圓 金思轍
金四圓 金龍基
小計金五十四圓也
[illegible]九百[illegible]五百四圓二十錢也

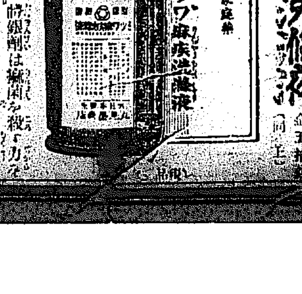
小兒に食べさし惡い食物

▽枝豆 の莢でたのは柔かに…[illegible]
▽西瓜 甜瓜の不消化は申す迄もないが[illegible]
▽水分 に富んで消化し易いやうでも[illegible]
▽間違 ひを起すことがある[illegible]
▽豆腐 は黴菌の培養器のごときもので黴菌が之れに附着すると非常に繁殖し易い、故に奴にした豆腐を一度湯豆腐にして夫れから水の水が沸騰して冷しのまゝ食べる[illegible]

○ミツワ治麻藥
麻疾を治癒せしむる最優秀の内服藥
みつわ・りんびやうのみぐすり

適應症候
急性麻疾 慢性麻疾 尿道炎 膀胱炎 腎盂炎

花柳の巷に遊んでから二三日經つて、尿道口に瘙痒や疼痛を感じ、紅く腫れて膿を洩らし、尿が頻に出たく、其の度毎に疼痛劇しく、漸々膿が多く出るやうになり、消化も悪くなり、包皮も腫れ、睾丸が腫れて眼が出來す、精神も時々にして、夜間も時々起る慢性麻疾、それが治り切らないで起る急性麻疾、其の孰れにしても麻疾を治すには、公開のミツワ治麻藥を服むに限る。



○ミツワ麻疾洗滌液
麻疾の治療上缺く可らざる外用藥
みつわ・りんびやうあらひぐすり

麻疾に罹つたときは、其の洗ふ藥劑に注意を拂はないと、却て病症が惡くなる。一時銀劑は黴菌を殺す力を以て居るので、麻疾の洗滌に盛んに用ひられるが、其の作用の淺いものは、病症が進んで黴菌が既に深く組織の内に入込んで居る場合には、之を根治することが到底出來ない。然るにミツワ麻疾洗滌液の主成分たる銀劑は、多くの銀劑中其の作用が最も深いから、効力は極めて大きい、故に之で洗つてミツワ治麻藥を服めば、麻疾は速に治るのである。

○ミツワ痔疾藥
痔疾のあらゆる種類に卓効を奏する
みつわ・ぢのくすり

適應症候
痔核、痔瘻、脱肛、裂肛、脱肛内痔、外痔、痔の疼痛、肛門内部に疼痛、或は熱感ある場合。

一口に痔と稱へるものの内、痔核と稱ぶは肛門の内或は外に小豆位から鶏卵位の大きさの結節が出來るもので、多少痛み便通の時殊に痛んで、時々出血する。痔瘻即ち穴痔とは肛門の内外に孔が出來て、膿の出るもの。肛門裂傷即ち裂痔とは肛門の粘膜が裂けて劇しく痛み、血の出るもの、此等にはミツワ痔疾藥で便通を程宜くし、内容明示のミツワ痔疾藥を用ふるに限る。

發賣元 ミツワ石鹸本舖 東京橘町 丸見屋商店

妻の心（九十一）

十五の四　小林蹴月作　武内桂舟畫

見ると、ついぞ見た事のない風の悪相しき男が、浮黄地の手拭を目ばかり出して頰被りして、足袋跣足のまゝに、蘆と破居の前に立ち止まつた。手には何やら細長い光る物を持つて居るやうである。

子は、悸乎として魂も消ゆるばかりに驚いたが、思はず我の上に伽ね起きながら『泥棒ッ』と、一聲。

『騒ぐと是だぞ。』

曲者は、眼で脅取つたらしい禰子を睨めつて、禰子をぎらりと睨つて、手に持つた光る物を突付けて見せたが、それは問ふまでもなく短刀であつた。

『出す物さへ出しや、いゝさは何んだ。早く邪魔の入らねい内に出して了ひねいの』

愈よ強盗の本性を發揮し出たのである。

『……まつ、待つて下さいまし。現金と被仰つても只今手元にはありませんから……。』

禰子は斯う云ふのにさへ、齒の根が合はない。大きな聲を立てれば、命首具と思ふので、掌を合せて、拜むやうにしながら縮み上つた。

『現金がなけりや、指環や時計があるだらう。早く爲ねいと承知しねいぞ。』

曲者は、能く芝居なぞで見るやうに、ずぶり短刀の尖鋒を疊へ突貫して、脇本の隅にあつた禰子が手廻りの用簞笥を手込めに引明けやうと懸つた。中には、別段大した物も入れてはなかつたが、只白金の女持の時計と、不入の金指環が三つばかり投込んである丈であつた。

『うむ、是で勘辨してやる。』

曲者は、天の與へとばかりに、それを片端から引つ張出して、自分の懐へ捩じ込むのに忙しい。

『あれツ、もし、……時計も指環も毛頭惜しみは致しませんが、その指環の中に定紋の彫付けてあります一品丈は……。』

『喧しい。何を吐しやがるんだ。今まで不儉籠の陰に奢侈の衣食となつて居たんだ、是れ等の物だや手間賃にもならねいが、女一人だから勘辨してやるんだ。』

『そ、そ、それでもあの、その指環ばかりは、良人と結婚しました時の記念に……。』

『小癪な事を云ふねい。此方は何でも金目にせねばなりやいい文句はねいんだ。』

固より曲者に容赦のあるべき筈はなかつた。禰子が愁ひ、除計な事を云ひ立つた丈それ丈、對手は金目の貴重品と思つたので、大急ぎに引つくるめて、内懐へ捻ぢ込む。

『乃公が立ち去つた跡、二三十分間の内に騒ぎ出したりすると、返禮に來るから覺悟しろ。』

云ひながら、曲者は、自ら雨燈の栓を捻つて、室内を眞暗闇に變らせ、緣端からひらり庭へ飛び降りるよと見たが、影も足音も忽ちにして、植込の彼方へ消え失せて了つた。

怖い夢との境へもあるが、禰子は、眞に生きたる空もなかつたのである。穴勝『返禮に來るぞ』と云つた曲者の捨臺詞に怯ゑての事ではないが、遽に咽喉元が抑詰まつて、聲を出すべき力さへなかつた少時は只、眞闇な中に腰のぬけた病人のやうな恰好を為て、兀然と小さく固く坐つたきりであつたが、どうしようと云ふ思案も出なければ、工夫も付かない。

する内に、時間はずん〳〵と經つばかりであつた。ちーんと一時を打つ音が耳へ入つたので、禰子は、初めて幾分か醒めしたやうに我に返つた。怖々ながら起上つてみい、漸との思ひに雨燈の栓を捻返さうとしたが、どうした運のわるさであらう？電球の線に異狀を生したものと見えて、捻返しても捻返しても更に光氣が發かない。禰子は思はず悲哀の頂上に達した聲を發して、

『勝やでも梅やでも早く來て下さい。』

京城の名物（京城南大門通三）
カフエータイガーの洋食とアイスクリーム

日報歌壇

かはたれ　夏の旅人

南の空しら雲一つたゞよへりあなあないさゝ澄み●●●●なす青空の鏡のとして翳るゝ夕な

奥に見ゆるまぼろし

木の梢はそよとだにせず星一つ空に輝ようタぐれのころ

サルビヤの燃ゆるくれなゐ寂しさの蔭の闇に小やみ鳴けり（植物園にて）

桑の名も知らぬ花ははなやかに明の風に揺られかゞやく

○　大邱　百合

楽しき力あり世はこの姉との春ぞよりぞはじまりぬらむ（大村文子様に捧りし女のうたへる）

あめりかさあじやと二人別れ住む日となりしかなしづ心なし

夕されば御船いづこと旅程より太平洋に赤き線ひく

白　星　光

水涸れし世の小川を白き家鴨さびしくなきつゝあそびゐたるも

○不案氏を訪ふ

かけ離れてはいぬろいとし子の傍にて君の脇つくります

いとし子の敏眼ぬちにしてうまいすなのぞきみにつゝ君は歌つくる

倉成　藤水

美しく星光る夜は若人の眼はうるみつゝしものかこそ想へ

若物い星の一つに心をおきて正しく惑じたることのげに恐ろしくもあるかな

善なおさて善を知るものはあらじとぞ思はるゝ日の猶くもつゞく

○果の實

禁制の果の下に熟れやはらかに沿しだりてあたゝかく匂ゑたかし

いとけなき小鳥はつひに堪へがたし盗み食みけり

おそろしや舌はただれて毒汁に胸は燃ゆれど

あなかなし甘き果の實の束の間の味な忘れず

▲秋の歌を募る

□牀碧山房對座　芹　郎

鰯あけた漁夫等の言葉洩れなくきくべし

腐る鰯鰯ひかりつゝあたく夜を光る

鰯包んだ紙を燃したあとの事で

○　浮　碧　樓

鰯を手づかみにかぞへて已れに正しければこそ

鰯の安い日がつゞくひるのしづかな客間のうちです

鰯裂くのをみてゐる私の正しい時

鰯を燒く匂ひが強くて進みがたく男だ

―九月九日―

□私のくらしから（九）　神月星　せりを

○

わたくしの周圍
人間の戀がみだれ
戀の字が勿體や。
おめねも職人
てめねも職人
電柱に脚をあけた
民の月らぬ顏した。』

公私衞生（二）

注意の不注意

短將生

△共同一致とか　相互制裁とか謂ふ事は何か六づかしいことの樣であるが是は何でも無いことである一體何處の都市でも市街の衞生といふことに就て共第一番に苦心する又問題となるのは屎尿塵芥類の汚穢物處分問題である京城に於ては除穢事業は一つに京城府の主管するところで屎尿一日の收去量八百石内外塵芥の收去量一日千三百石内外は五百人許りの人夫と六十臺内外の馬車等により毎日搬出せらるゝのである素より是等人夫の作業に就ては最も綿密なる一定の計畫があつて偏頗なく市内を循環的に收去する塵芥の如きも四日位には一循環する如く仕組が出來て居るようであるが野菜類の出市時機とか清潔法とか或は

△雨大洪水などの特別な原因から非常に勞力を増大することが隨時起るので自然多少の變更は免れぬようであるそれに京城府の力の除穢事業も溝渠の浚渫、道路掃除、共同便所掃除、道路撒水何々と中々繁雜な働き樣であるから市民が共同して除穢事業を助けるといふ一つの善良なる美風を養成するでなくては何時まで經つても市の衞生狀態は改まる時は來ぬ縱し警察の鞭撻によつて又京城府の努力によつて鋭意是が向上を圖つても何他から強制や干渉をされて出來上つたものは何處かに申譯のやうな責塞ぎのやうな氣分が有つて物足らぬものである是れはどうしても

△市民の一般が　相互警め自ら覺醒して除穢事業の成績を揚げなければならぬと信ずるのである其方法に就て爰に一口に謂ひ盡すことは困難であるが差當り除穢及び衞生に關する希望の二三を擧げて見よう幸ひに此記事を讀んだ人の幾部でも之を嚴重に守り範を示すことゝなつたなら効果は蓋し空しくないと信ずるのである

新刊紹介（到著順）

▲英和對照好句集　高橋五郎著　英語の雜句を平易通俗に解釋したるもの是によらば和漢の成語及び諺語も巧妙なる英語にて云ひ現はし得べく試みに一二を拾はば、吹みすれば影がさす、好事魔多し、芋の尺蠖、地獄の沙汰も金次第、六日十菊、盗人を見て繩をなふ、月と鼈、憎まれつ子世にはびこる、甲子、両手に花、一寸の虫にも五分の魂、城御園へ・うん鑑、王候將相何ぞ種あらんや、めくら千人めあき千人、はだか一貫、下駄に灸を据へ、詰る立てる、小田原評定等百四十三種の雜句に對して一々之を英の成語に當てゝ解説したる珍書なり（四十二錢東京神田美土代町一文舍社）

▲朝鮮公論（九月號）西伯利出兵と機を（朝鮮官民の奮起を促がす（社說）西伯利出兵に對する嚴正批判（七名家）住宅問題の根本解決（市島經濟部長）往來問題と農業之國策（中沼博士）教育勅語の發布（宇都宮京畿道參與官）朝鮮に於ける造林の趨勢（山中山林課長）全羅機關の現狀（有賀理財課長）北外滿洲遊記圖の新學、石炭に代るべき燃の利用法、滿洲の事業と人物、四時雜、諸か語、流轉の男と漂浪の女、怪談もの（三十錢、京城太平通二丁目社）

▲朝鮮鑛業會誌（一ノ九）川崎理學士の朝鮮金鑛床の研究、試掘行談、炭鑛燒論、朝鮮鑛業界の缺陷に就て、朝鮮重要鑛山狀況、タングステンの迅速定法、アナコンダに於ける新設煤煙處理工場、アラバマ對セイロス黑鉛、ウエールスに於ける亞鉛製錬業、合衆國及世界の石油產額七月中に於ける朝鮮鑛產物輸移出入、鑛業出願許可其他（一四十錢京城南山町二ノ二七朝鮮鑛業會）

▲夢の世界（六號）秋田雨雀、長田秋濤、林田龜太郎、八重の潮路（七）不動府寮明作（松永咳太）米と撩と宮内官、櫻井智賢、男を見せる美人、刺客（吉村幸夫）怪しい隣室の女（赤柳直美）夢の小町（吉村幸夫）廚の傷鎖の根（石田武夫）花柳艶種（伊藤）みけるゝ政界異談、石井正義、夢の人國記兵庫縣（吉羽太郎）其他（二十五錢、東京芝區西ノ保町廿八丁目社）

▲●辯（九月號）内容充實し趣味豐饒新の文字に富む（五十錢東京市本郷區駒込千駄木町四八大日本雄辯會）

讀者の領分

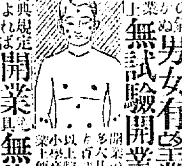
▲天理教信者の果て　[illegible]

◎米國石油政策　管理發令奈何

戰時に於ける米國の石油に對して燃料管理局石油部は元鑛山技師の實權を必要とするに至らざるがるの必要を唱道する者あれども採油に採油は益々增加して需要の增加率の增加に伴はざる傾みありは採炭油の供給を拒絶する一面自 [illegible]

は當業者の團體たる石油戰時委員會として石油事業上に經驗を有するを採用の標準と現今の狀態よりすれば [illegible]

▼僅二ヶ月短期間自宅で獨習できる人の氣の業上
男女有望業務
無試驗開業出來る
開業の上は收入多く六ヶ月で收得確實
特典規定書によれば**開業**具も**無代進呈**
本材木町三ノ五東京電氣療法事務所に申込め内容見本及規則書通知す



ね小便と
小便近き人へ
驚く程キクこの全快者の禮狀が毎日毎日來ます
新發見の療法あり今回人助けの爲めハガキにて申込の方へ無代進上す
東京市京橋區築地町　電話橋二六九九
救世院

▲にせ物あり御注意
りん病　請合藥
ばい毒　請合藥
京城南大門外停車場通　ドラック商會朝鮮本部
京城黄金町三丁目電車通り　ドラック商會支店

特に斯くの如き人は直に召上れ！
▲胃腸病の人
▲病後保養の人
▲活氣のない人
▲血色の悪い人

悪疫を粉砕する巨砲は
殺菌力強大な葡萄酒
赤玉ポートワイン

七人の博士の賞讃ある葡萄酒
朝夕の一杯は百薬に優る
秋口は兎角胃腸の弱る時で之れにつけ込んで種々な流行病が發生します、**赤玉ポートワイン**は諸君の健康を保全するのみならず殺菌力強大ですから朝夕召上つて居れば悪疫が流行しても少しも身体を襲はれる事はありません秋口には殊に**赤玉ポートワイン**を召上るが肝心です!!

月夜よし
蟲の音もよし風もよし
肌の心地も好いやうに
品質本位の
花王石鹸を
此の節懈らず
御愛用遊ばせ